

垂井町
「第6次総合計画」策定に係るアンケート

調査結果報告書

《概要版》

平成 29 年 2 月

垂井町

目次

• • 調査の概要 • •	1
Ⅰ. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査票の回収状況	2
5. 報告書の見方	2
• • 町民アンケート • •	3
Ⅰ. 回答者の属性	3
1. 性別	3
2. 年代	3
3. 職業	4
4. 勤務先・通学先	4
5. 町内での居住年数	5
6. 居住地区	5
Ⅱ. 調査結果	6
1. 町の印象と定住意向などについて	6
1) 町の印象	6
2) 定住意向	6
3) 移りたいと思う理由	7
4) 垂井町の満足度	8
5) 垂井町の重要度	9
6) 満足度と重要度の評価	10
2. まちの将来像について	12
1) 必要な取り組み	12
2) 将来の垂井町の姿	16
3. 今後の町政運営について	17
1) まちづくりへの関心度	17
2) 関心のある町政情報	17
3) 町政情報の入手媒体	18
4. 地域活動への参画について	19
1) 1年間に参加した地域活動	19
2) 日常生活の意識	20
• • 高校生アンケート • •	21
Ⅰ. 調査結果	21
1. ご自身について	21
1) 性別	21

2) 住まい.....	21
2. 町の印象やイメージなど	22
1) 町の印象.....	22
2) 町の魅力.....	22
3) 定住意向.....	23
4) 将来の垂井町に感じる不満.....	23
5) 町のイメージ.....	24
3. 垂井町の将来のまちづくりについて	25
1) 将来のまちづくりについて.....	25
・ ・ 中学生アンケート ・ ・	27
I. 調査結果	27
1. ご自身について.....	27
1) 性別	27
2. 将来の定住意向と不満	28
1) 定住意向.....	28
2) 住み続けたい理由	28
3) 町に戻りたくない理由.....	29
4) 将来の垂井町に感じる不満.....	29
3. 垂井町の将来のまちづくりについて	30
1) 将来のまちづくりについて.....	30
・ ・ 保護者アンケート ・ ・	31
I. 調査結果	31
1. ご家庭の状況について	31
1) 性別	31
2) 年代	31
3) 職業	32
4) 世帯構成.....	32
5) お子さんの人数.....	33
6) 町内での居住年数	33
7) 居住地区.....	34
2. 町の印象と定住意向などについて	35
1) 町の印象.....	35
2) 定住意向.....	36
3) 移りたいと思う理由	36
3. 垂井町での子育て環境について	37
1) 家庭をとりまく環境	37
2) 子育ての満足・不満	38
3) 力を入れるべきこと	39
4. 子どもの進路について	40
1) 子どもの進路.....	40

2) 子どもの将来について.....	40
3) 子どもの将来の居住場所.....	41
・ ・ 正職員アンケート ・ ・	43
I. 調査結果	43
1. ご自身について.....	43
1) 性別	43
2) 年代	43
3) 職級	44
2. 総合計画の認識と評価	45
1) 日頃の意識.....	45
3. 第5次総合計画の評価	46
1) 目標の満足度と重要度.....	46
2) 満足度と重要度の評価.....	49
3) 改善すべき点.....	50
・ ・ 臨時職員アンケート ・ ・	51
I. 調査結果	51
1. ご自身について.....	51
1) 性別	51
2) 年代	51
3) 勤続年数.....	52
2. 総合計画の認識と評価	53
1) 総合計画の認知.....	53
3. 町の印象について.....	54
1) 取組みの満足度・重要度.....	54
2) 満足度と重要度の評価.....	56
3) 将来の姿.....	58

・ ・ 調査の概要 ・ ・



I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、垂井町にお住まいの方または垂井町に通勤・通学されている方々のまちづくりに対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画を策定するための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2. 調査対象

調査対象	対象者	対象者数	標本抽出方法	調査方法
①住民	町に在住の 18 歳以上の方	3,000 人	単純無作為抽出	郵送配布 郵送回収
②中学生	不破中学校 3 年生 北中学校 3 年生	302 人	全数調査	学校配布、 回収
③高校生	不破高校 3 年生	82 人	全数調査	学校配布、 回収
④保護者	不破中学 3 年生、北中学 3 年生 の保護者	302 人	全数調査	学校配布、 回収
⑤正職員	町の正職員	190 人	全数調査	職場配布、 回収
⑥臨時職員	町の一般職の臨時職員	207 人	全数調査	職場配布、 回収

3. 調査期間

①住民アンケート調査

平成 28 年 11 月 12 日から 11 月 28 日

②中学生アンケート

平成 28 年 11 月 17 日から 12 月 5 日

③高校生アンケート

平成 28 年 11 月 17 日から 12 月 1 日

④保護者アンケート

平成 28 年 11 月 17 日から 12 月 5 日

⑤正職員アンケート

平成 28 年 11 月 14 日から 11 月 28 日

⑥臨時職員アンケート

平成 28 年 11 月 14 日から 11 月 28 日

4. 調査票の回収状況

調査対象	対象者数	回収数 回収率
①住民	3,000	1,324 件 44.1%
②中学生	302	278 件 92.1%
③高校生	82	73 件 89.0%
④保護者	302	206 件 68.2%
⑤正職員	190	190 件 100%
⑥臨時職員	207	207 件 100%

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略している場合があります。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

・ ・ 町民アンケート ・ ・

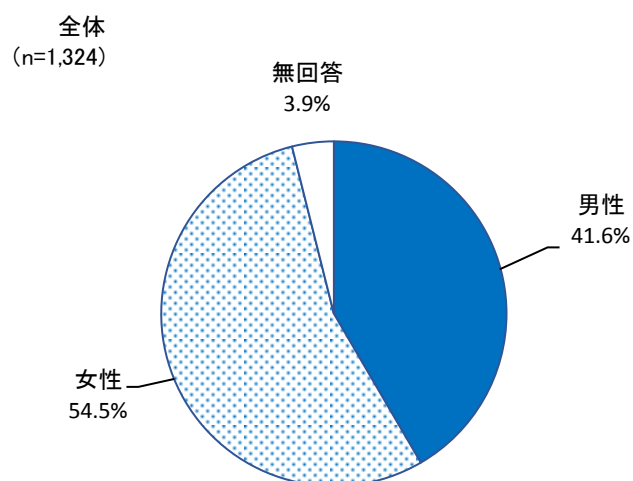


I. 回答者の属性

1. 性別

- 「男性」が41.6%、「女性」が54.5%

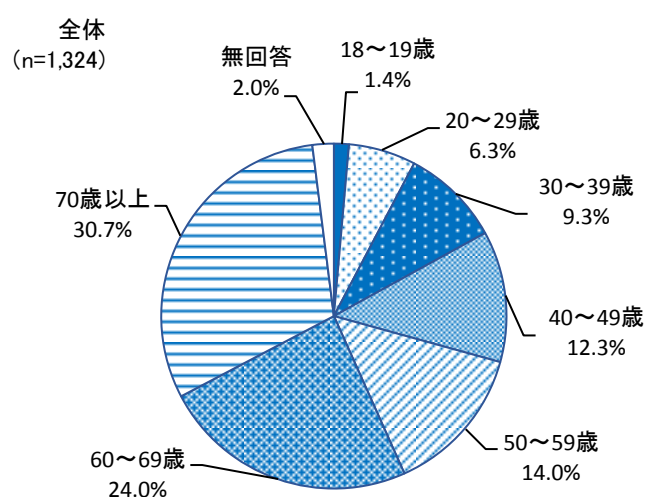
図表 1 性別



2. 年代

- 「70歳以上」が30.7%、「60～69歳」が24.0%、「50～59歳」が14.0%など

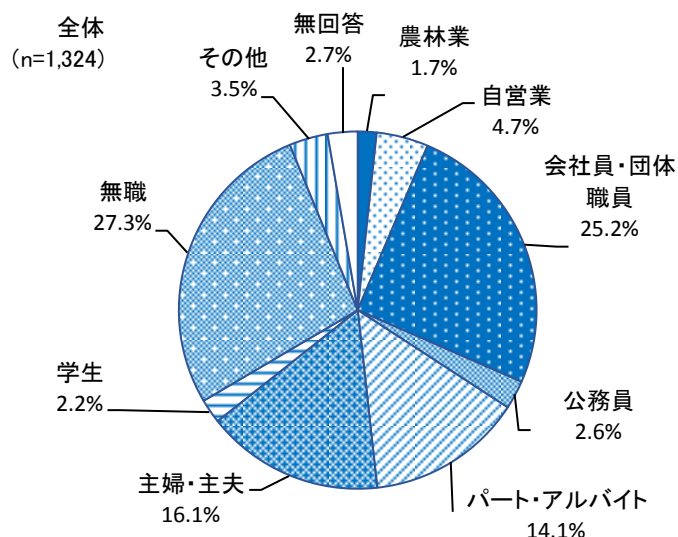
図表 2 年齢



3. 職業

- 「無職」が 27.3%、「会社員・団体職員」が 25.2%、「主婦・主夫」が 16.1%など

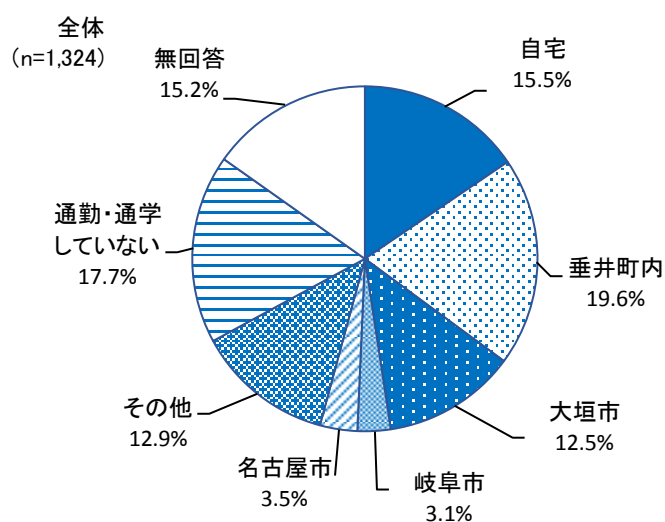
図表 3 職業



4. 勤務先・通学先

- 「垂井町内」が 19.6%、町外では「大垣市」が 12.5%、「通勤・通学していない」が 17.7%など

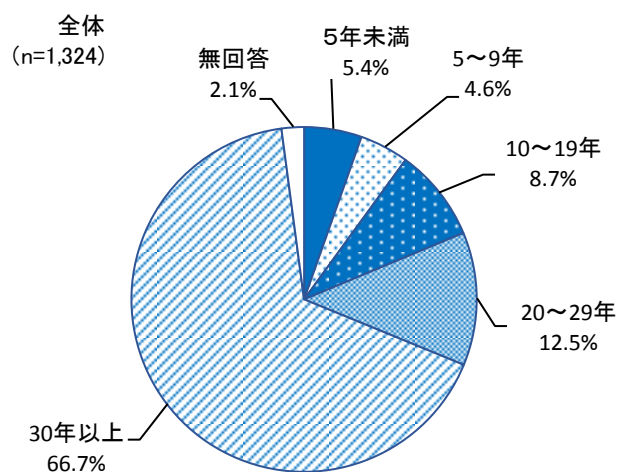
図表 4 勤務先・通学先



5. 町内での居住年数

- 「30年以上」が66.7%、「20～29年」が12.5%、「10～19年」が8.7%など

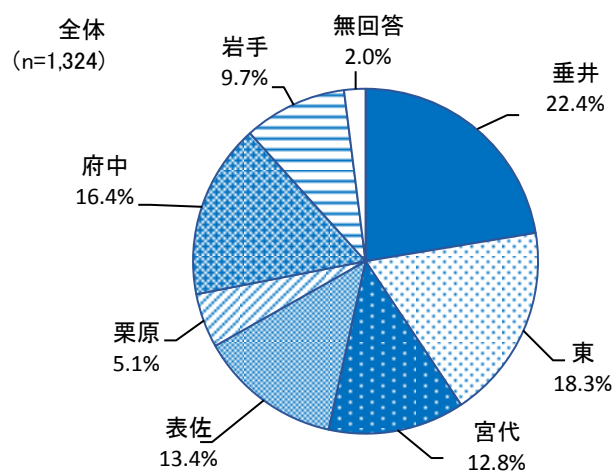
図表 5 町内での居住年数



6. 居住地区

- 「垂井」が22.4%、「東」が18.3%、「府中」が16.4%など

図表 6 居住地区



II. 調査結果

1. 町の印象と定住意向などについて

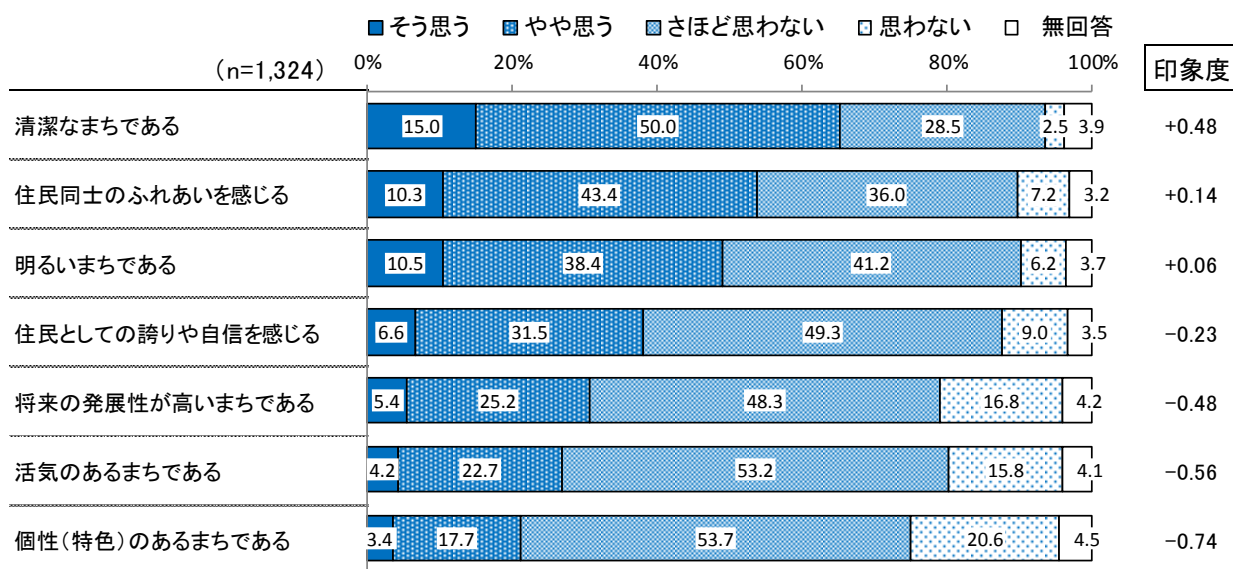
1) 町の印象

問1 あなたは次のような垂井町の印象についてどのように感じておられますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

垂井町の印象について、〔そう思う〕を＋2点、〔やや思う〕を＋1点、〔さほど思わない〕を－1点、〔思わない〕を－2点として項目ごとに印象度（評価点）を算出した。

□ 垂井町の印象は、“清潔なまち”“個性（特色）のないまち”など

図表 7 町の印象（全体）

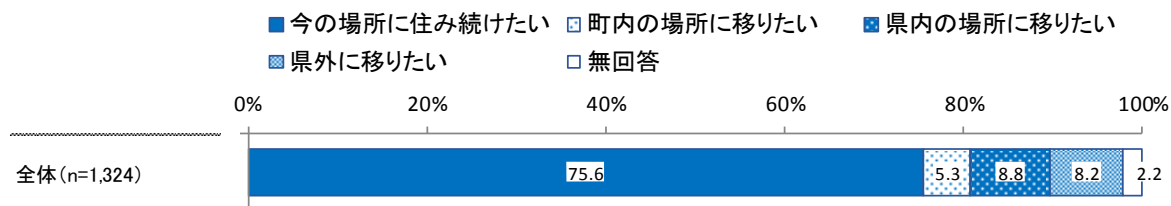


2) 定住意向

問2 あなたは将来も垂井町に住み続けたいと思われますか。（○は1つ）

□ 垂井町での定住意向は、「今の場所に住み続けたい」が75.6%

図表 8 定住意向（全体）

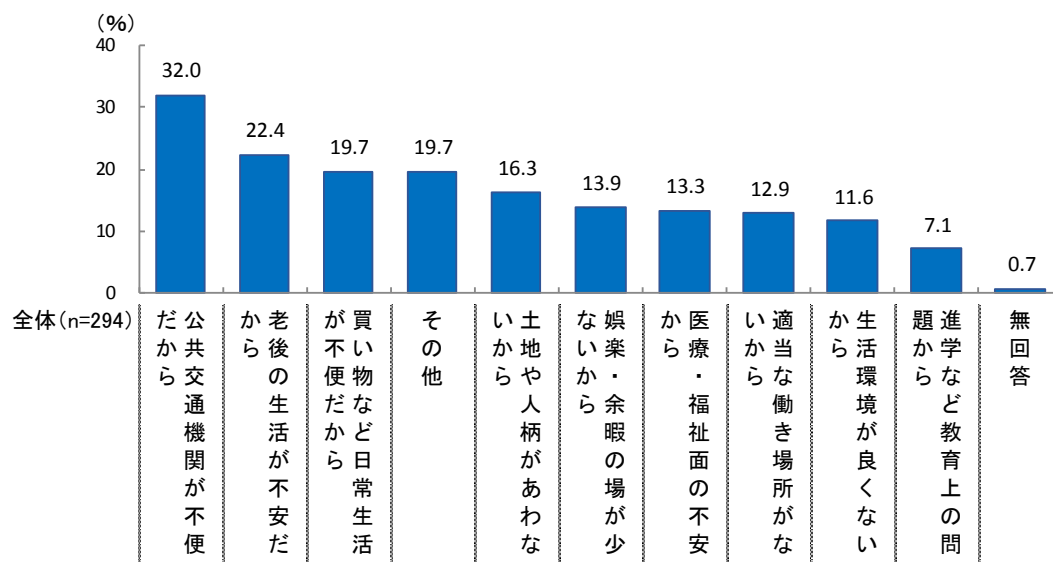


3) 移りたいと思う理由

問3 今の場所から移りたいと思われる主な理由はどのようなことでしょうか。(○は2つまで)

- 移りたい主な理由は、「公共交通機関が不便だから」、「老後の生活が不安だから」など

図表 9 移りたいと思う理由（全体）



4) 垂井町の満足度

問4 あなたのお宅のまわりのさまざまな面について、どれくらい満足されていますか。また、それぞれの取組みがどれくらい重要だと思われますか。次にあげる項目について、あなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

垂井町のさまざまな取組みに対する満足度について、「満足」を＋2点、「まあ満足」を＋1点、「やや不満」を－1点、「不満」を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

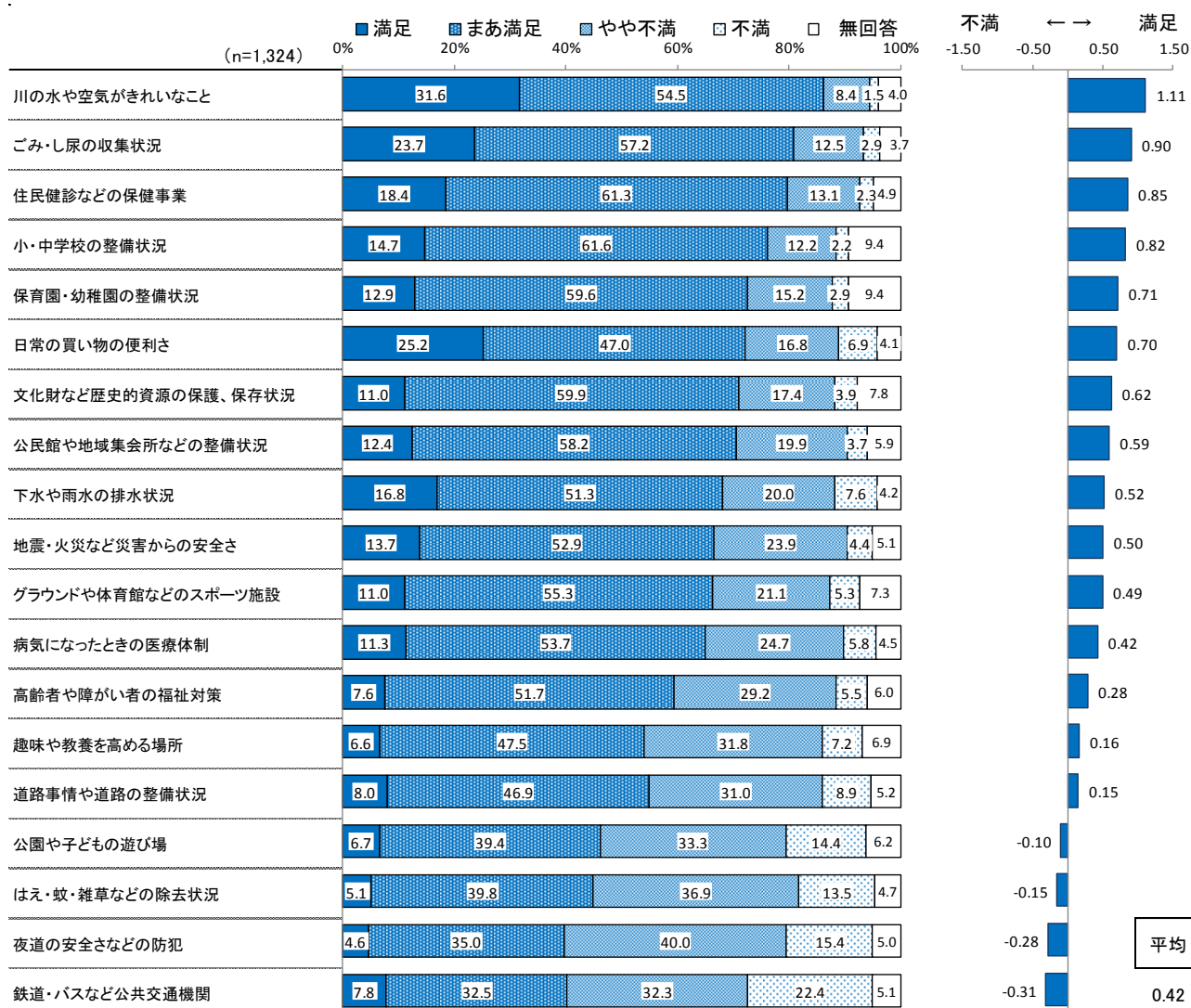
満足度プラス評価が15項目、マイナス評価が4項目、平均0.42点

図表 10 垂井町の満足度（全体 上位5項目/下位5項目）

順位	満足度の高い5項目		不満の多い5項目	
1	川の水や空気がきれいなこと	1.11	鉄道・バスなど公共交通機関	-0.31
2	ごみ・し尿の収集状況	0.90	夜道の安全さなどの防犯	-0.28
3	住民健診などの保健事業	0.85	はえ・蚊・雑草などの除去状況	-0.15
4	小・中学校の整備状況	0.82	公園や子どもの遊び場	-0.10
5	保育園・幼稚園の整備状況	0.71	道路事情や道路の整備状況	0.15

*満足度=満足[+2点]、まあ満足[+1点]、やや不満[-1点]、不満[-2点]とした

図表 11 垂井町の満足度と平均点（全体）

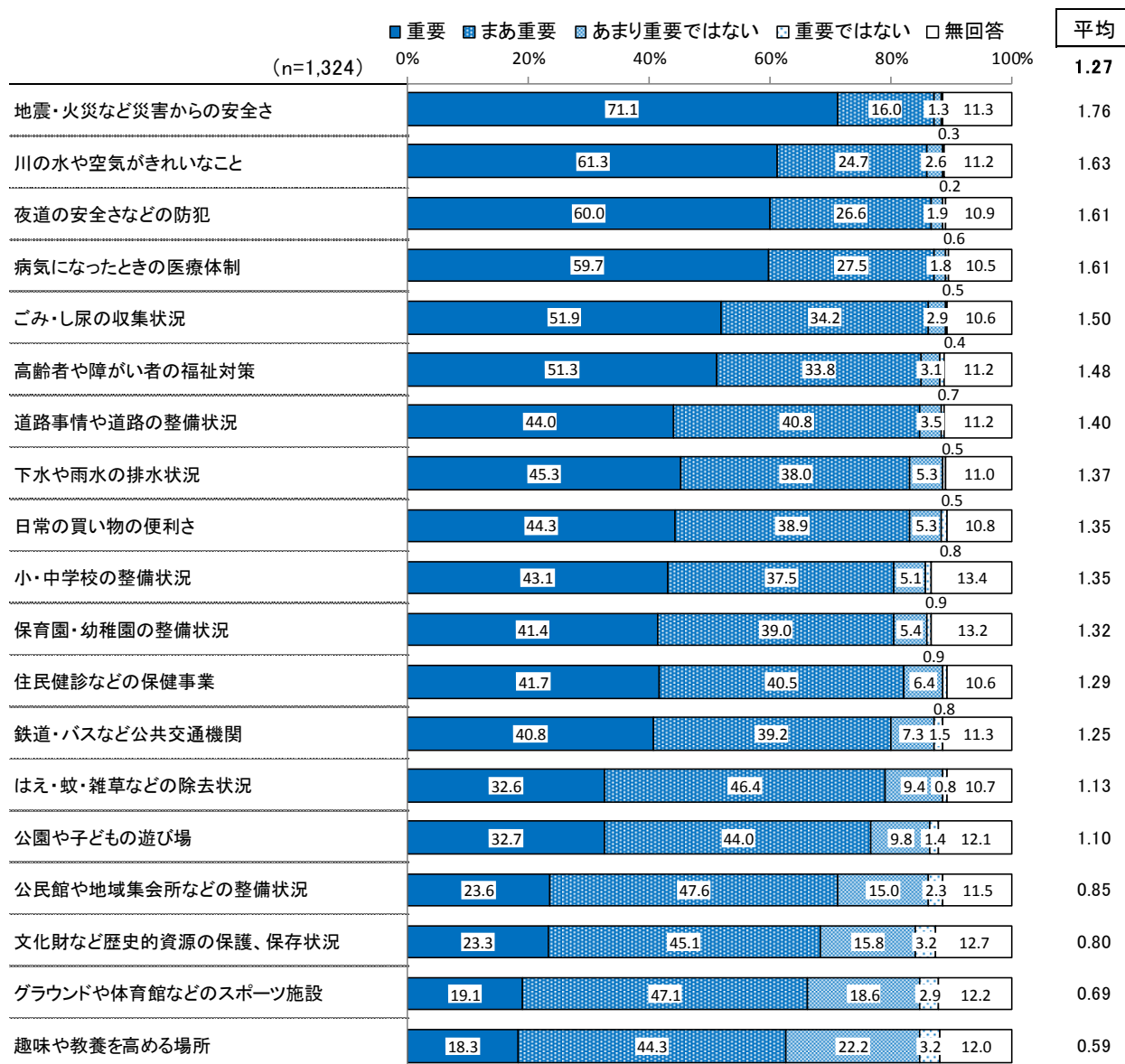


5) 垂井町の重要度

垂井町のさまざまな取組みに対する重要度について、「重要」を＋2点、「まあ重要」を＋1点、「あまり重要でない」を－1点、「重要でない」を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

□ 重要度 1.00 以上が 15 項目、1.00 未満が 4 項目、平均 1.27 点

図表 12 垂井町の重要度と平均点



6) 満足度と重要度の評価

問4の各項目に関して、満足度と重要度の認識の差（優先度）について評価するため、以下の手順で数値を算出した。重要度が高く、満足度が低いほど優先度の数値の差が高くなる結果となる。

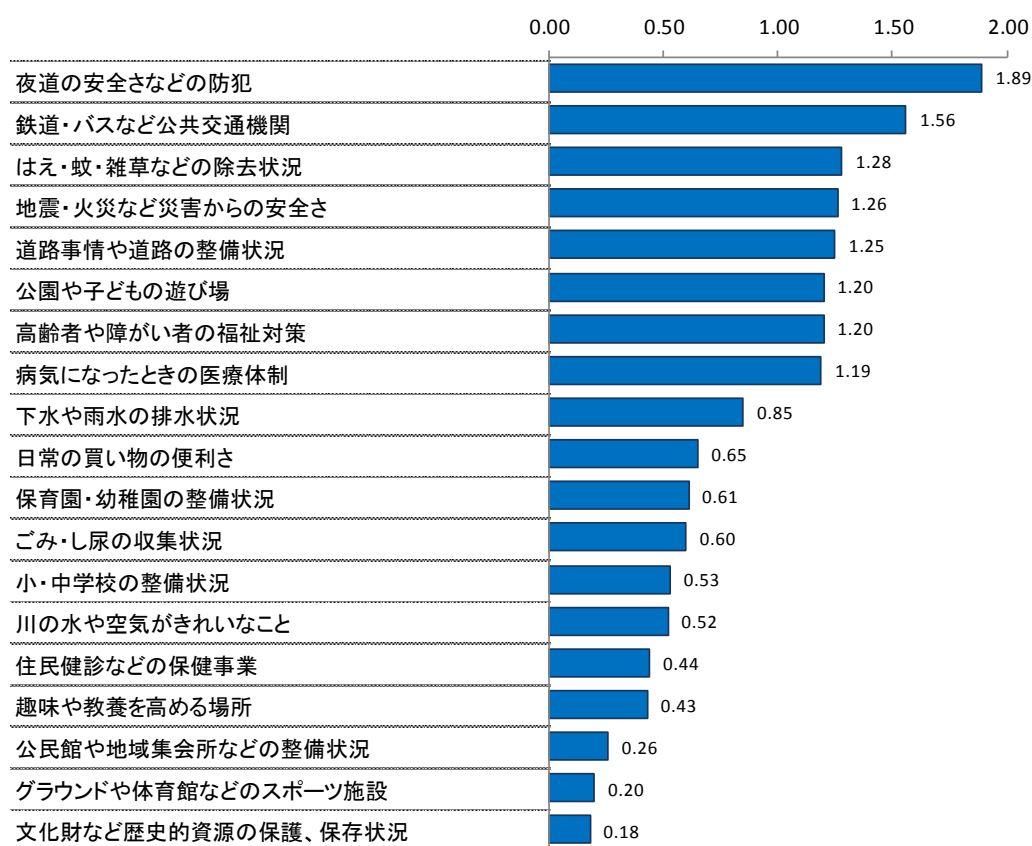
$$\boxed{\text{重要度評価点}} - \boxed{\text{満足度評価点}} = \boxed{\text{満足度と重要度の認識の差（優先度）}}$$

- 「バスなどの公共交通機関の整備」、「夜間や休日の医療体制」などで優先度が高い。

図表 13 満足度・重要度・優先度5項目

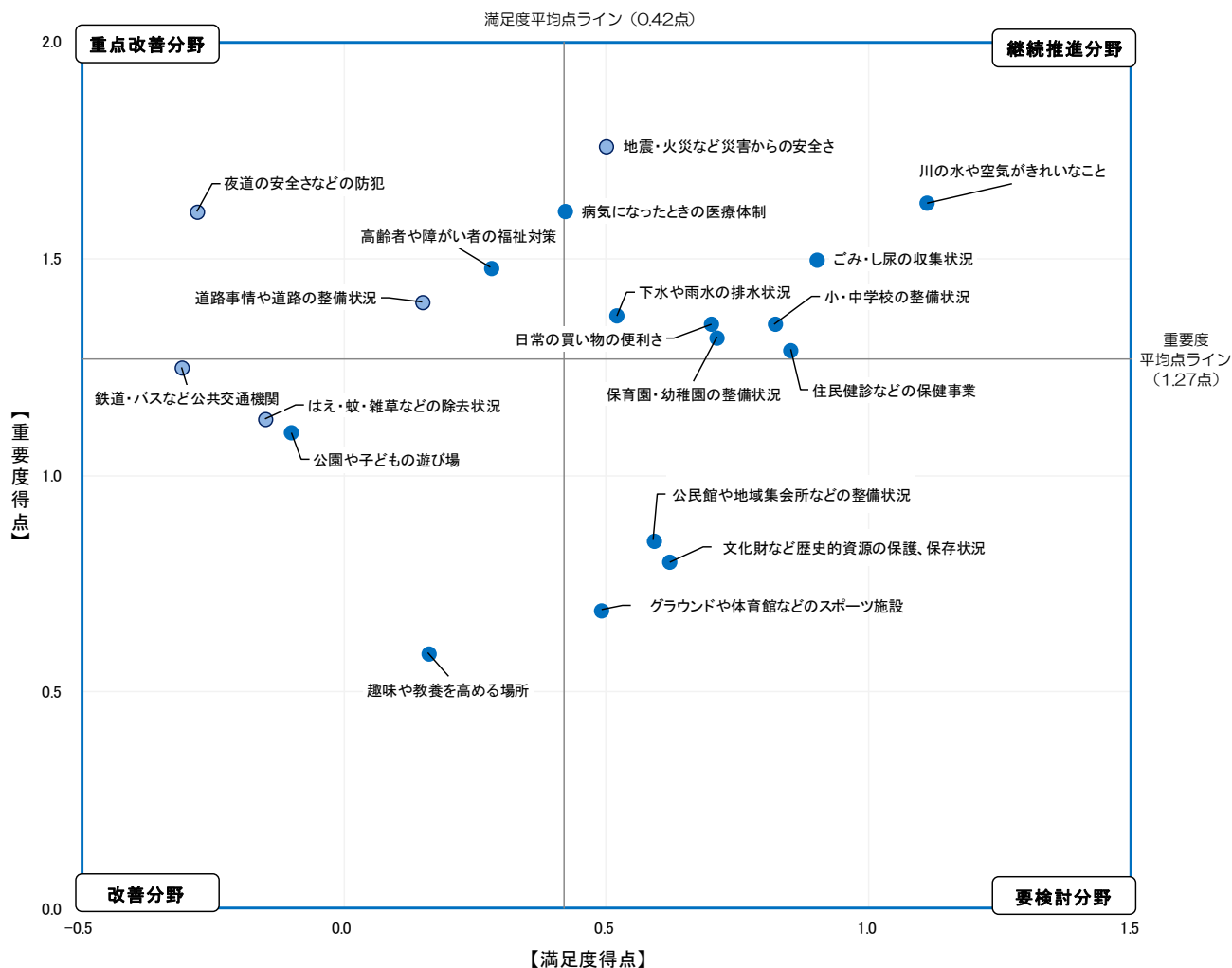
順位	満足度 下位5項目		重要度 上位5項目		優先度 上位5項目	
1	鉄道・バスなど公共交通機関	-0.31	地震・火災など災害からの安全さ	1.76	夜道の安全さなどの防犯	1.89
2	夜道の安全さなどの防犯	-0.28	川の水や空気がきれいなこと	1.63	鉄道・バスなど公共交通機関	1.56
3	はえ・蚊・雑草などの除去状況	-0.15	夜道の安全さなどの防犯	1.61	はえ・蚊・雑草などの除去状況	1.28
4	公園や子どもの遊び場	-0.10	病気になったときの医療体制	1.61	地震・火災など災害からの安全さ	1.26
5	道路事情や道路の整備状況	0.15	ごみ・し尿の収集状況	1.50	道路事情や道路の整備状況	1.25

図表 14 取組みの優先度



点数化した結果を下図の散布図に示し、座標上に表した。横軸が満足度、縦軸が重要度となっており、大きく4種類に分類した。それぞれの平均値は満足度が0.42、重要度が1.27となっている。

図表 15 満足度評価点と重要度評価点の散布図



【継続推進分野】 満足度も重要度も高い施策の方向性	住民ニーズは大きいですが、ほぼそれに見合った行政サービスが提供されており、今後とも現在の水準を維持していく。
【要検討分野】 満足度が高く、重要度が低い施策の方向性	住民ニーズはそれほど大きくないが、行政サービスは十分に提供されている。今後は、住民ニーズの動向に注視しながら、施策の力の入れ方の増減を図る必要がある。
【重点改善分野】 満足度が低く、重要度が高い施策の方向性	住民ニーズは大きいですが、行政サービスがそれに追いついていない。今後は重点的に資源を投入していく必要がある。
【改善分野】 満足度も重要度も低い施策の方向性	住民ニーズはそれほど大きくなく、満足度も低い。今後は施策の方向性や必要性、また、行政自らサービスすべきか、企業、地域、個人がすべきかなど、その役割分担について検討する必要がある。

2. まちの将来像について

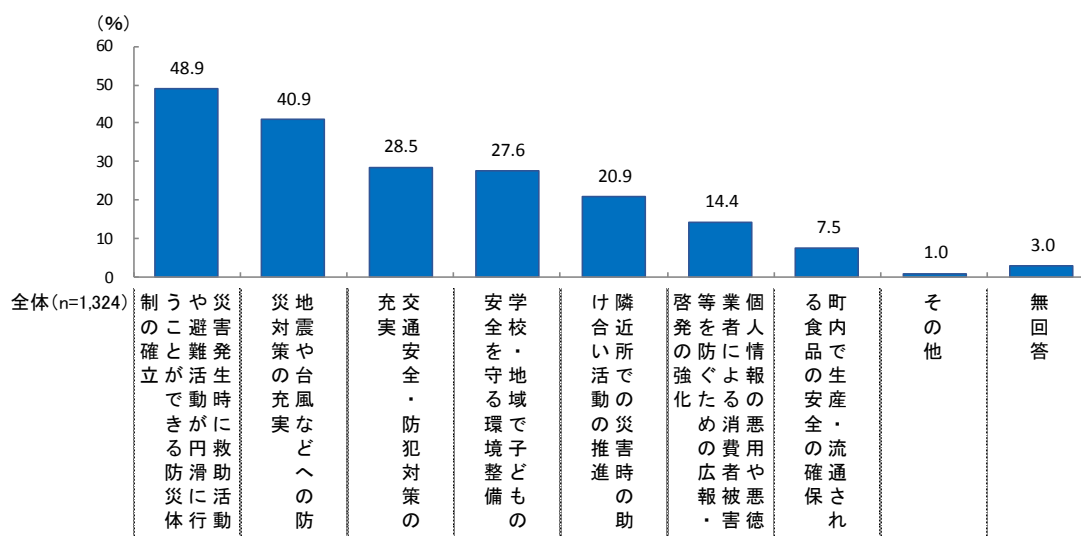
1) 必要な取り組み

問5「垂井町第5次総合計画」では、「やさしさと活気あふれる 快適環境都市」を将来の町の姿と設定し、多様な施策を進めていますが、この町の姿を実現するためには、それぞれどのような取り組みが必要であると思いますか。以下の設問①～⑦に全てお答えください。

①「安全・安心」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 安全・安心の分野には、“防災体制の確立”“防災対策の充実”などが重要

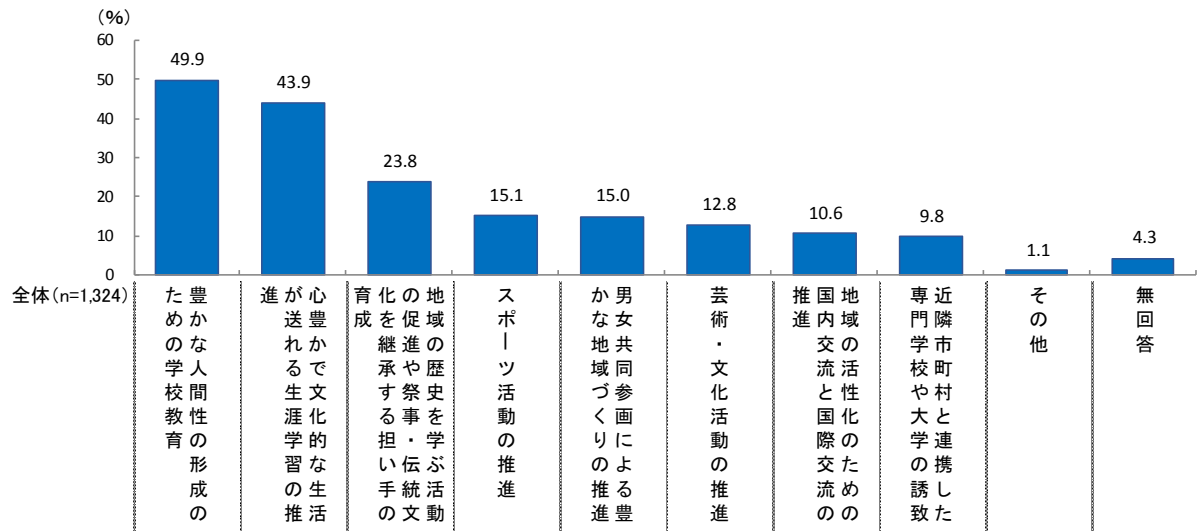
図表 16 ①「安全・安心」の分野について



②「教育・生涯学習・文化」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 教育・生涯学習・文化の分野には、“学校教育の充実”“生涯学習の推進”などが重要

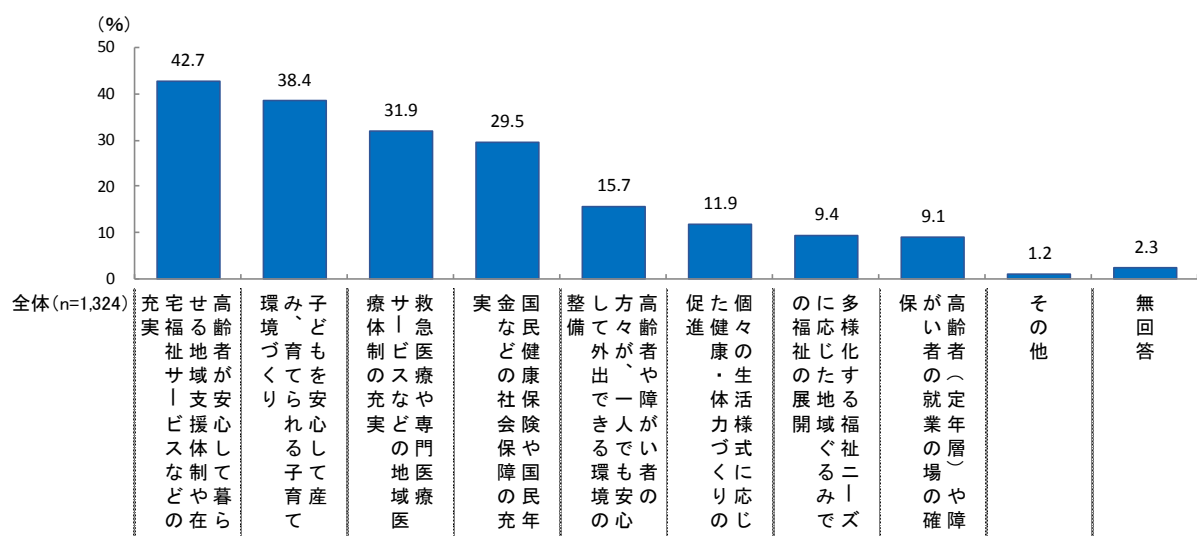
図表 17 ②「教育・生涯学習・文化」の分野について



③「子育て・健康・福祉」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 子育て・健康・福祉の分野には、“高齢者支援体制や在宅福祉サービス”“子育て環境づくり”などが重要

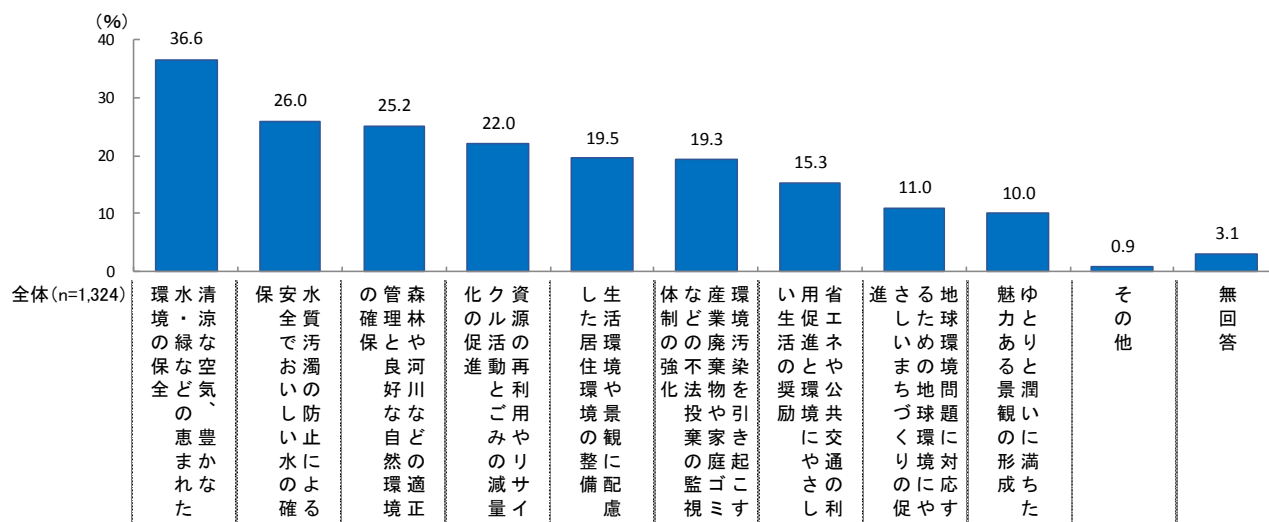
図表 18 ③「子育て・健康・福祉」の分野について



④「地域環境」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 地域環境の分野には、“環境の保全”“水質汚濁防止”などが重要

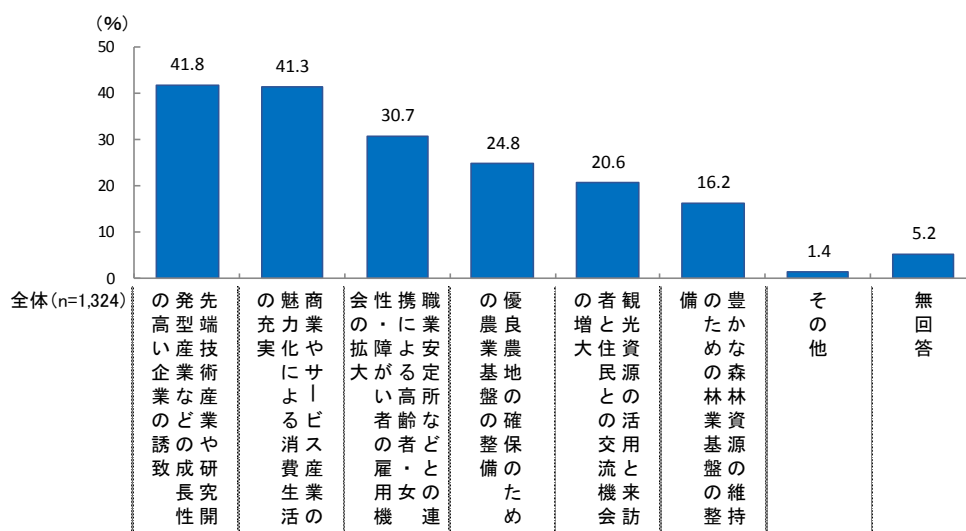
図表 19 ④「地域環境」の分野について



⑤「産業・交流」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 産業・交流の分野には、“成長性の高い企業の誘致”“消費生活の充実”などが重要

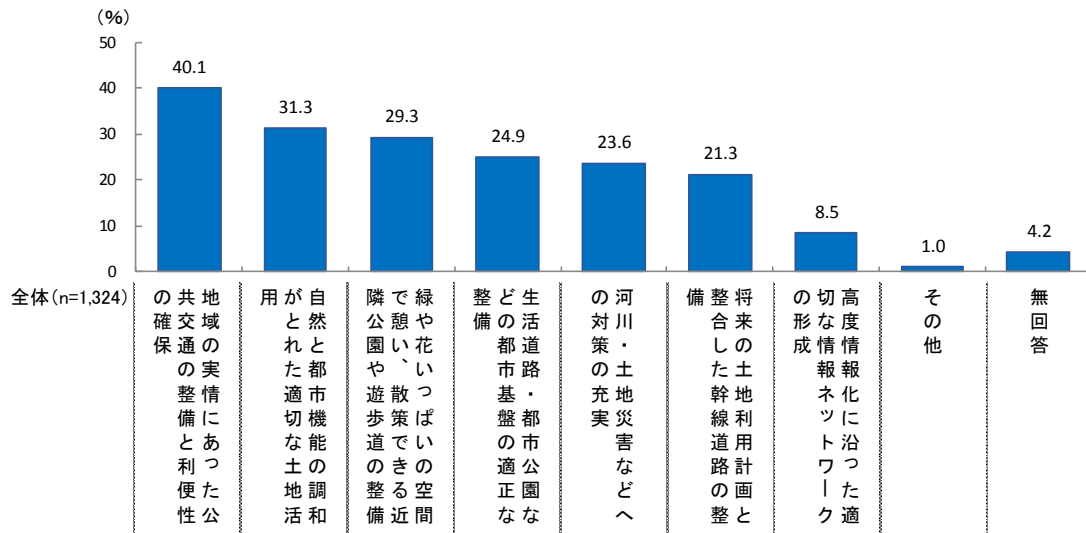
図表 20 ⑤「産業・交流」の分野について



⑥「都市基盤」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 都市基盤の分野には、“公共交通の整備”“適切な土地活用”などが重要

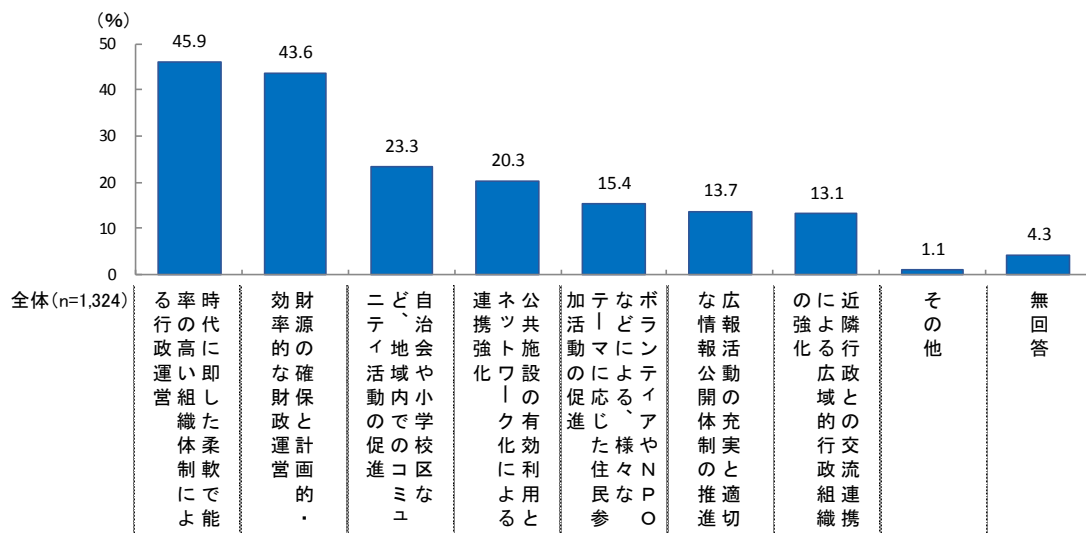
図表 21 ⑥「都市基盤」の分野について



⑦「協働・行財政運営」の分野において特に重要と思われる取り組みを次の中から2つまで○をつけてください。

□ 協働・行財政運営の分野には、“時代に即した行政運営”“財源確保と財政運営”などが重要

図表 22 ⑦「協働・行財政運営」の分野について

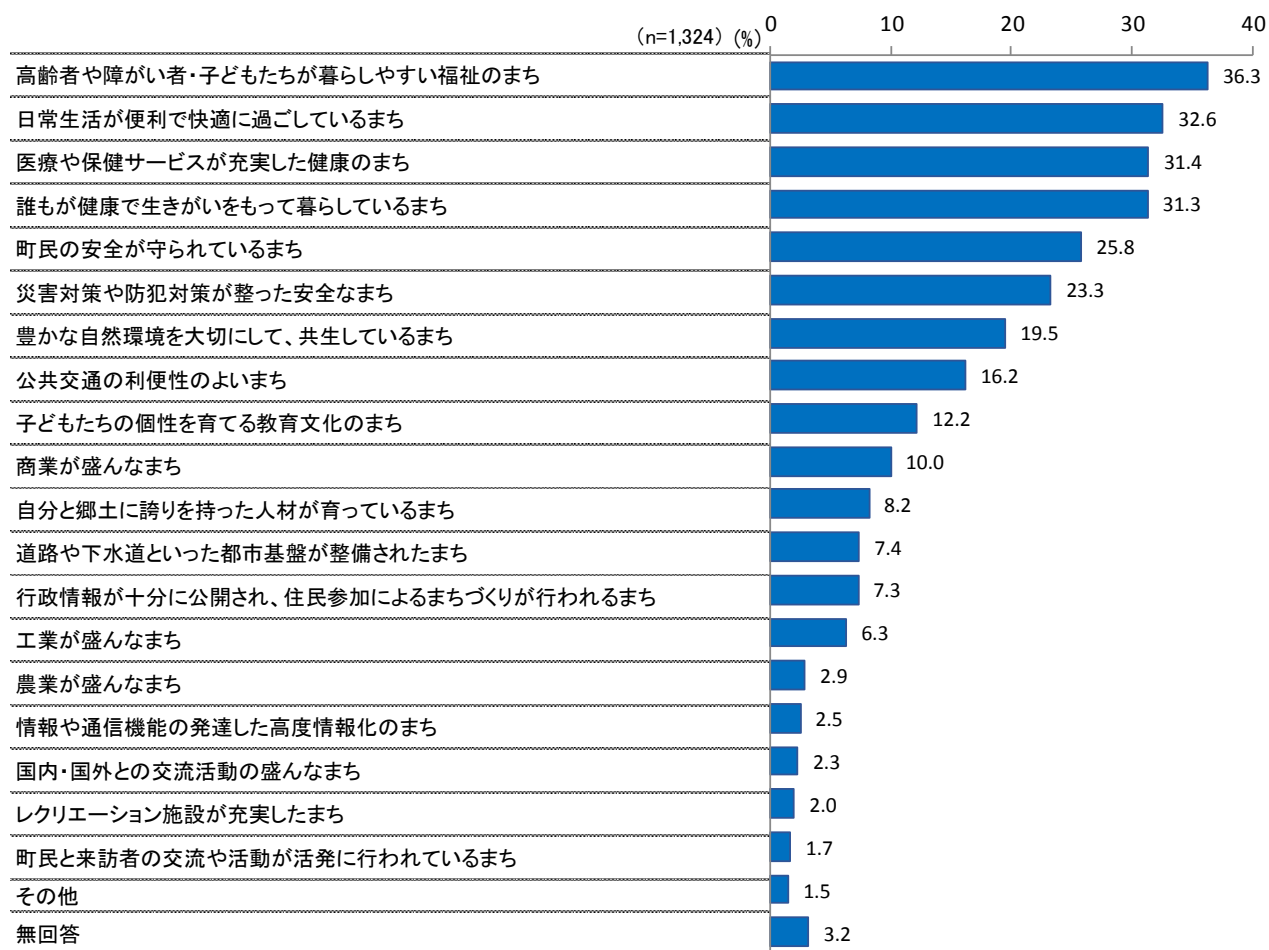


2) 将来の垂井町の姿

問6『問5①～⑦』への回答結果を踏まえ、垂井町は将来どのようなまちになっていけばよいと思われますか。
あなたが望む将来の垂井町の姿を次の中から3つまで○をつけてください。このほかに、あなたが考えるまちの姿があれば、その他の欄に具体的にご記入ください。

□ 将来望む姿は、“暮らしやすい福祉のまち”“便利で快適なまち”など

図表 23 将来の垂井町の姿



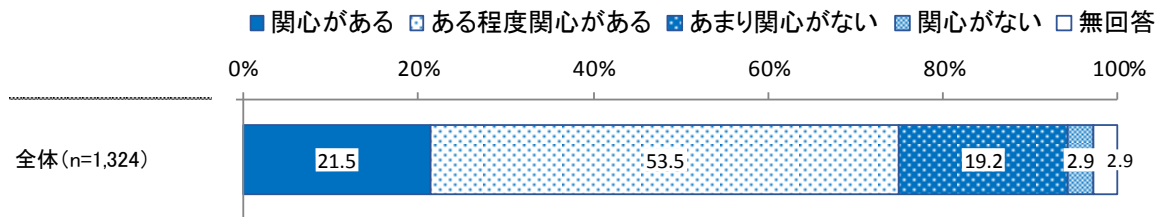
3. 今後の町政運営について

1) まちづくりへの関心度

問7 あなたは、垂井町のまちづくり(町政)にどの程度関心がありますか。(〇は1つ)

□ まちづくりに“まちづくりに関心がある人”は 75.0%

図表 24 まちづくりの関心度

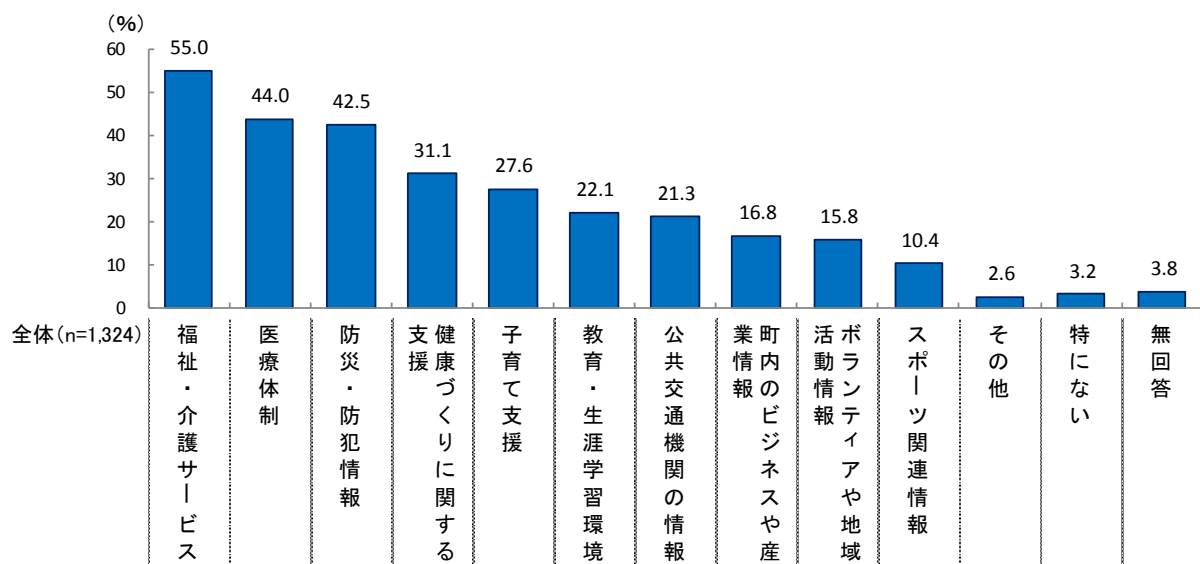


2) 関心のある町政情報

問8 あなたは、どのような町政の情報に関心がありますか。(今関心がない方は、どのような情報であれば関心をもてると思いますか。)(〇はいくつでも)

□ 関心のある町政情報は、「福祉・介護サービス」、「医療体制」、「防災・防犯情報」など

図表 25 関心のある町政情報（全体）

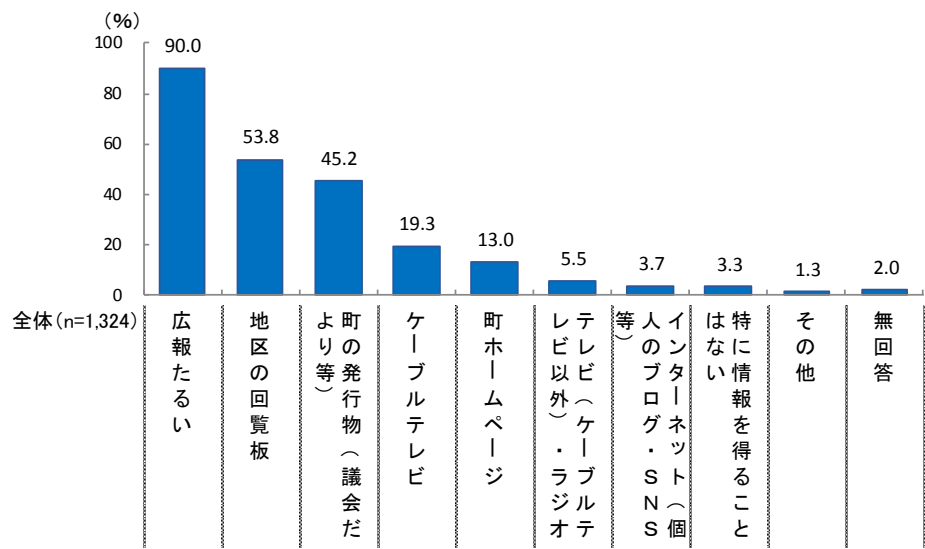


3) 町政情報の入手媒体

問9 あなたは、町政の情報をどのように入手しますか。(○はいくつでも)

町政情報の入手媒体は「広報たるい」が9割

図表 26 町政情報の入手媒体（全体）



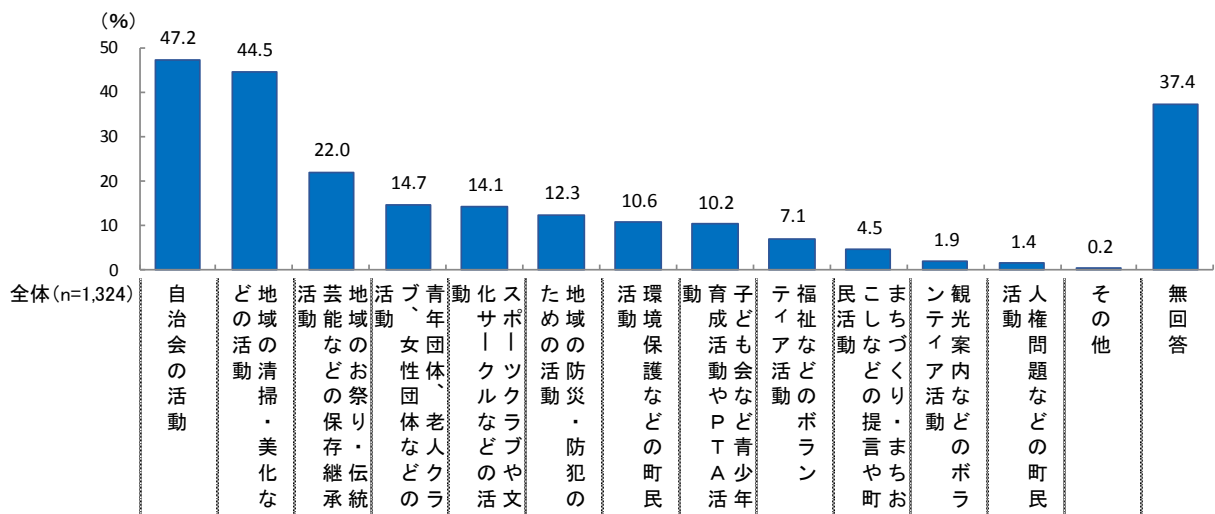
4. 地域活動への参画について

1) 1年間に参加した地域活動

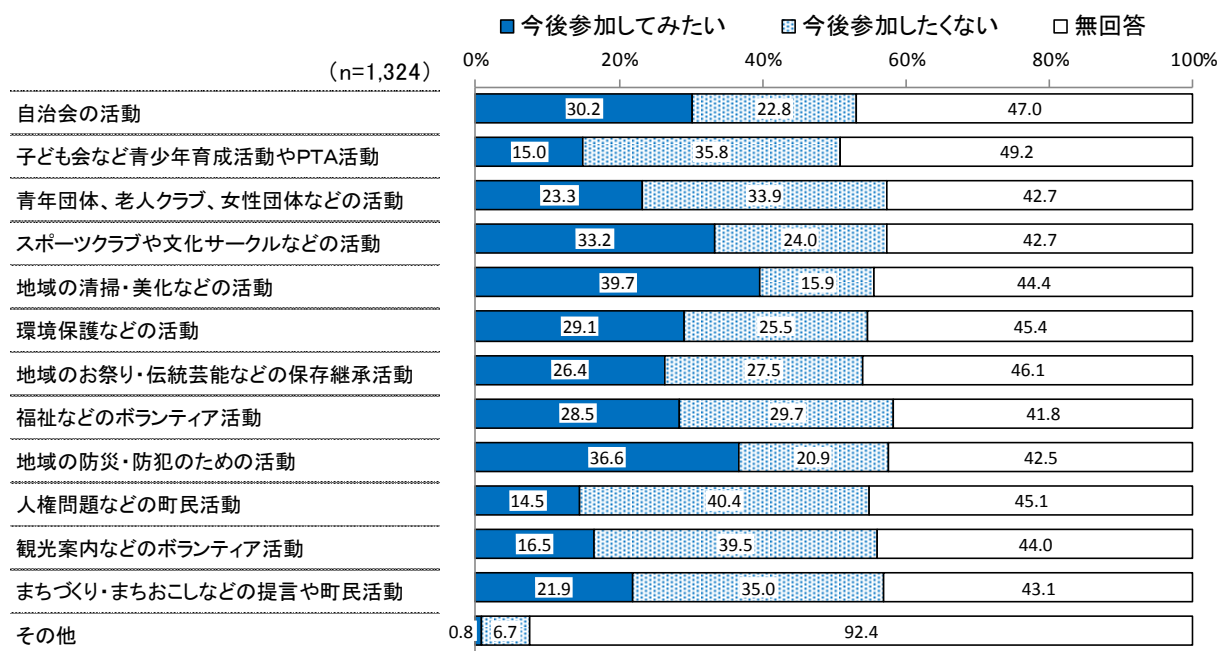
問10 あなたは現在、まちや地域をより良くしていくため、どのような活動に参加していますか。また今後の参加の予定はいかがですか。次の中からそれぞれあてはまる箇所すべてに○をつけてください。

- ☐ この1年間に参加した地域活動は、「自治会の活動」、「地域の清掃・美化などの活動」など
- ☐ 今後参加してみたい地域活動は、「美化活動」「防災・防犯活動」など

図表 27 1年間に参加した地域活動



図表 28 今後の参加意向

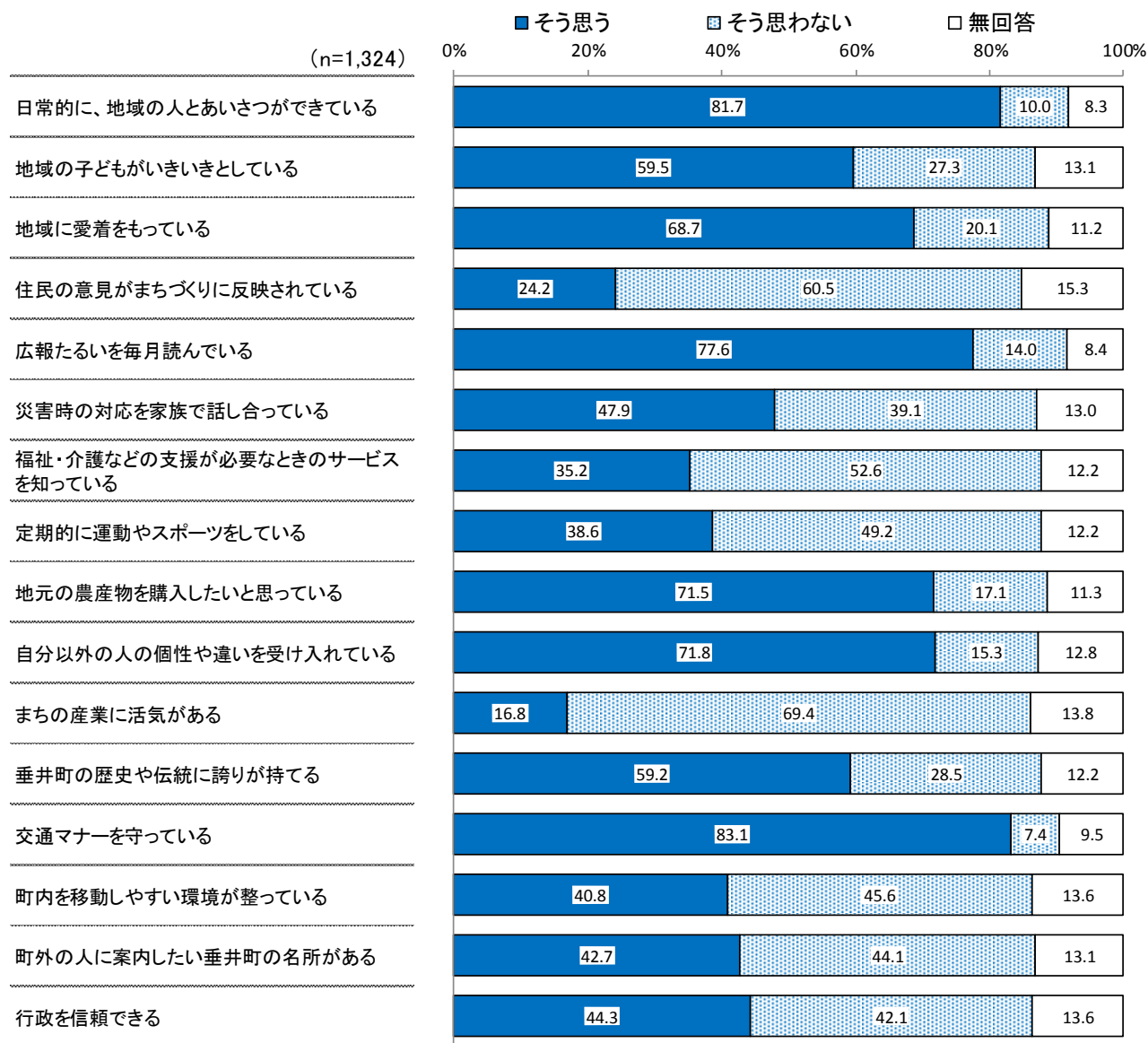


2) 日常生活の意識

問11 あなたの普段のまちとの関わり方や日常生活の意識についてお伺いします。(それぞれ○は1つ)

□ 普段意識していることは、“交通マナー”“あいさつ”“広報たるいを読む”など

図表 29 日常生活の意識



・ ・ 高校生アンケート ・ ・



I. 調査結果

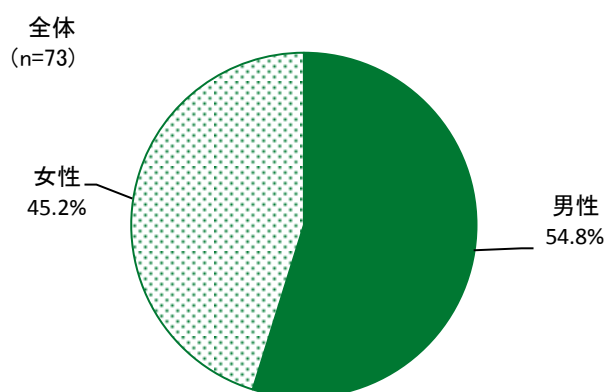
1. ご自身について

1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください

- 「男性」が 54.8%、「女性」が 45.2%

図表 30 性別

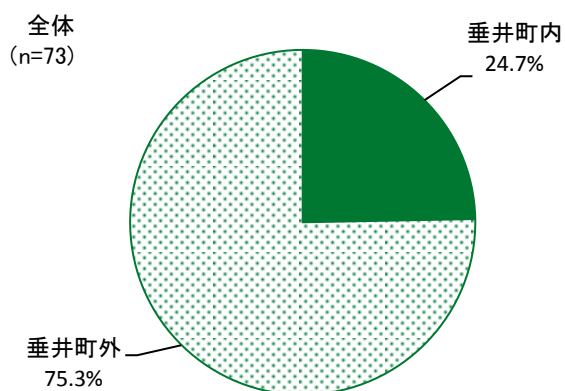


2) 住まい

問2 あなたのお住まいを教えてください

- 現在の住まいは「垂井町内」が 24.7%、「垂井町外」が 75.3%

図表 31 居住地域



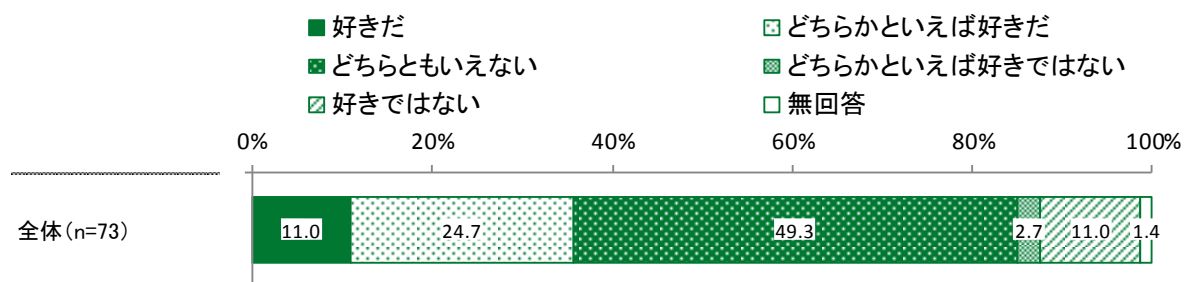
2. 町の印象やイメージなど

1) 町の印象

問3 あなたは垂井町のことが好きですか。(○は1つ)

□ 垂井町が“好き”な人は 35.7%、“好きではない”人は 13.7%

図表 32 町の印象（全体）

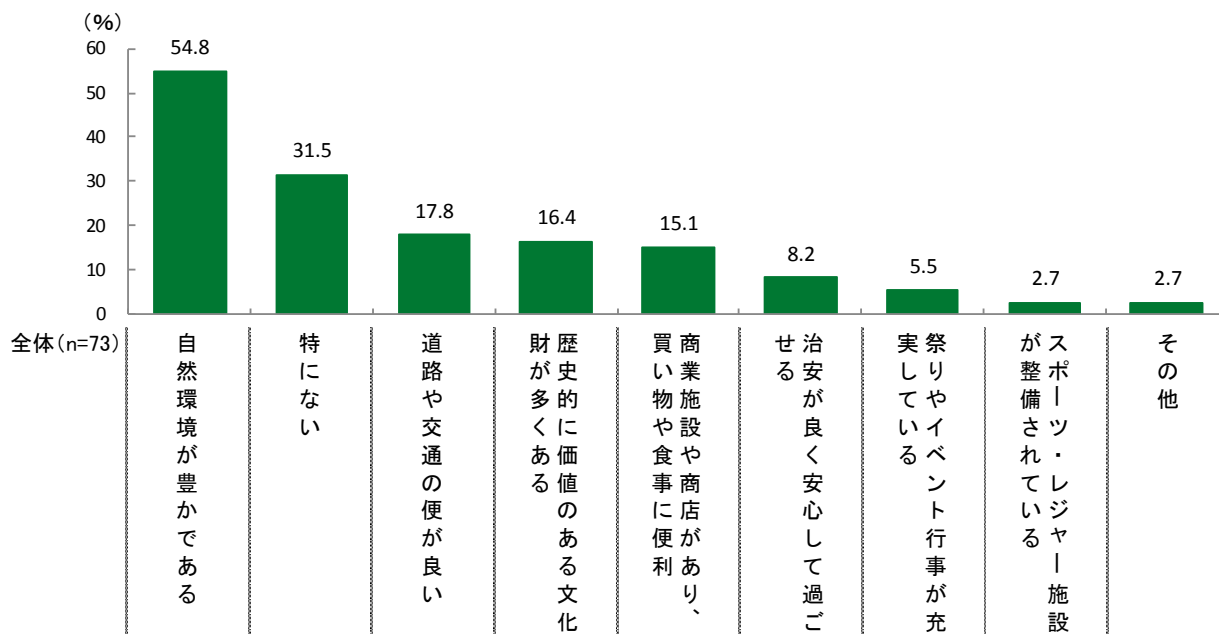


2) 町の魅力

問4 垂井町の魅力は何だと思いますか。(○はいくつでも)

□ 垂井町の魅力は、「自然環境が豊かである」

図表 33 町の魅力（全体）

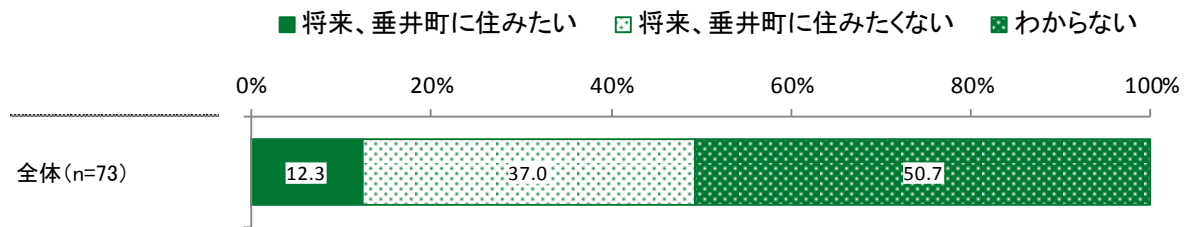


3) 定住意向

問5 あなたは将来、垂井町に住みたいと思いますか。(○は1つ)

□ 将来、垂井町に“住みたい”が 12.3%、“住みたくない”が 37.0%

図表 34 定住意向（全体）

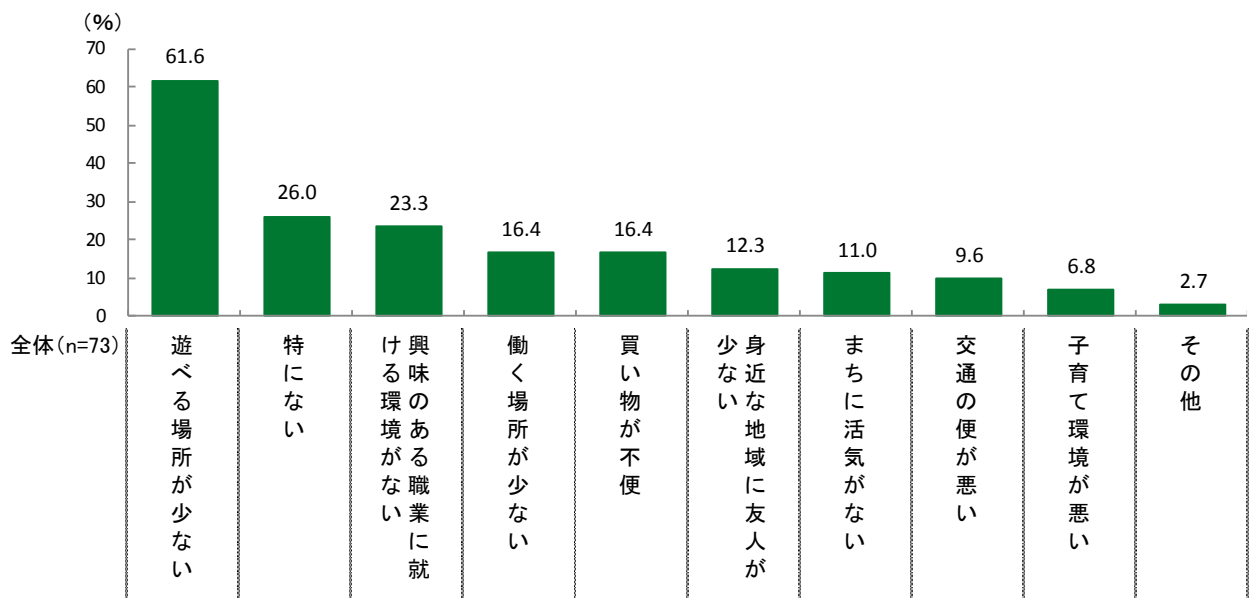


4) 将来の垂井町に感じる不満

問6 もし、あなたが将来、垂井町に住むことになったら、不満や不便を感じるものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

□ 不便を感じる場所は「遊べる場所が少ない」が 61.6%

図表 35 将来の垂井町に感じる不満（全体）

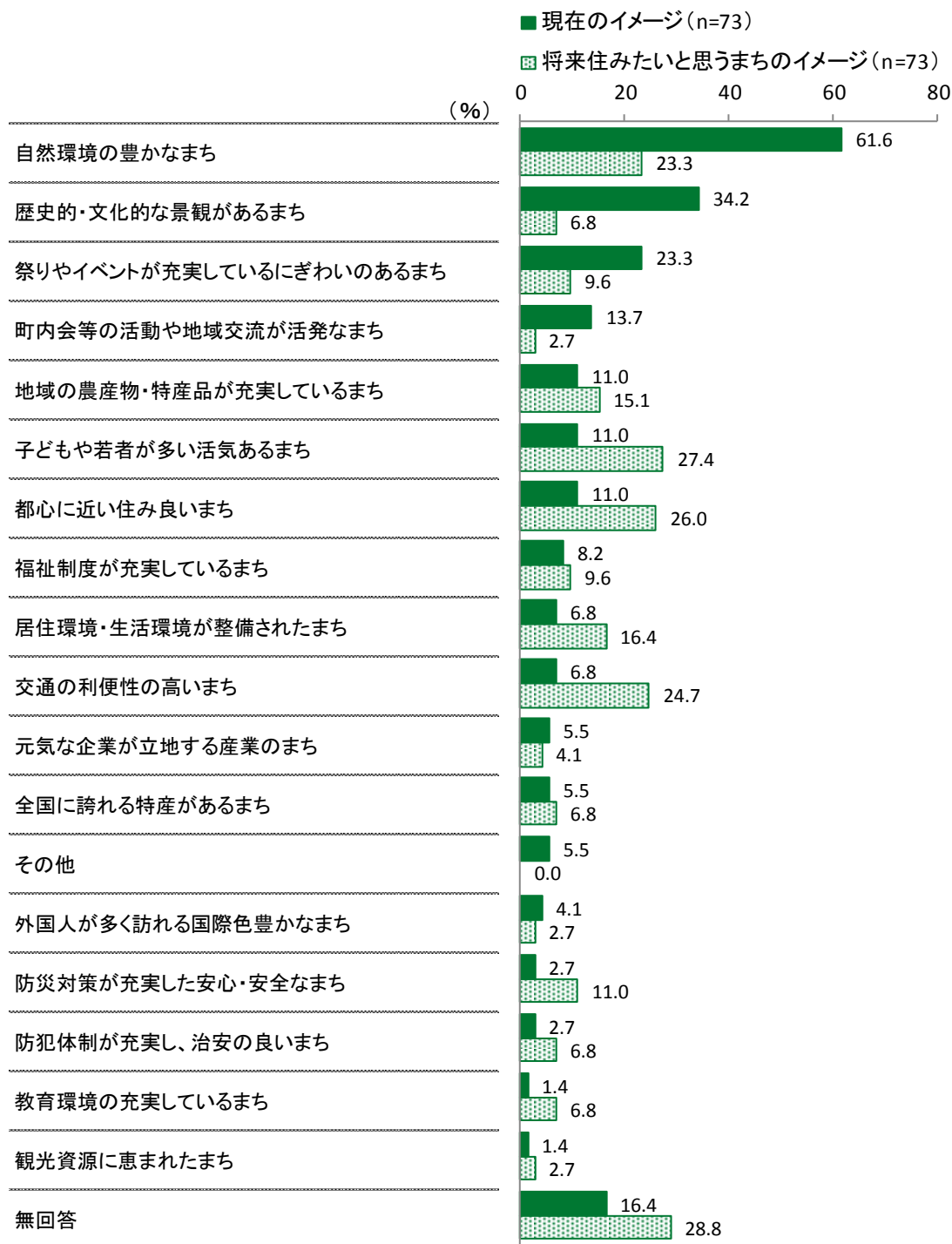


5) 町のイメージ

問7 現在の垂井町のイメージと、将来住みたいと思うまちのイメージについて、①～⑮のうちから選んでください。(〇はそれぞれ3つまで)

- 現在のイメージは“自然環境が豊か”“歴史的景観がある” 住みたいと思うイメージは、“若者が多い”“都心に近い”“交通の利便性が高い”など

図表 36 町のイメージ（全体）



3. 垂井町の将来のまちづくりについて

1) 将来のまちづくりについて

問8 あなたが垂井町の町長になったら、一番にやってみたいことは何ですか。また、将来どのようなまちになったらいいと思いますか。ご自由にご記載ください。

- 町長になってやってみたいことは「有名人を呼ぶ」、「遊ぶところを増やす」など
将来に望む姿は「ショッピングモールが欲しい」、「安心して楽しく安全に暮らせる町」など

図表 37 町長になったらやってみたいこと

内容	件数	内容	件数
・ 有名人を呼ぶ	3	・ 商店街を元気ある所にしたい	1
・ 遊ぶところを増やす	2	・ 垂井の中山道の通り（現シャッター通り）を元気のある通りにする	1
・ みんなに仕事を与える	1	・ 垂井町にも県立の学校を造ってください	1
・ 祭りを増やす	1	・ 町おこしに力を入れる	1
・ 行事を増やしたい	1	・ 不破高野球部の応援（地域全体で）	1
・ イベントをする	1	・ 小・中学校の水道からお湯が出るようにする	1
・ ごみひろい	1	・ 高校生までの医療費などの負担	1
・ 誰もが住みたいと思う町内づくり	1	・ 都市化	1
・ 町づくり	1	・ 大きいショッピングモールをつくる	1
・ 建物をたくさん建てる	1	・ 町長にならない・なりません	3

図表 38 将来、こんなまちになってほしい

内容	件数	内容	件数
・ ショッピングモールが欲しい	4	・ このままでいい	1
・ 安心して楽しく安全に暮らせる町	3	・ 楽しい町	1
・ 元気あふれる元気な町	2	・ 福祉のことを教える町づくりをしたほうがいい	1
・ 有名人がたくさん来る町	2	・ すばらしい町	1
・ ホームセンターが欲しい	2	・ カラオケをいっぱい作る	1
・ 街灯を増やす	1	・ 福祉設備をどうにかしてください	1
・ 平和	1	・ 学生の医療費無料（大学生含）	1
・ 若い人が増え元気のある町	1	・ 不破高校が生き残って欲しい	1
・ 昔の歴史が有名になり、元気あふれる町にしたい	1	・ 町から市にしてほしい	1
・ 若い人がたくさんくる町	1	・ 近隣住民たちが嫌悪な状態にならない	1
・ 住みやすい所	1	・ 交通の便を増やす	1
・ 生きてけるまちなら OK	1		

・ ・ 中学生アンケート ・ ・



I. 調査結果

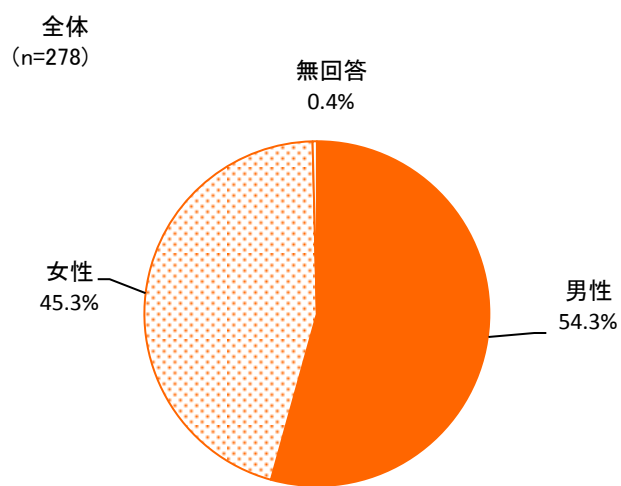
1. ご自身について

1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください

□ 「男性」が 54.3%、「女性」が 45.3%

図表 39 性別



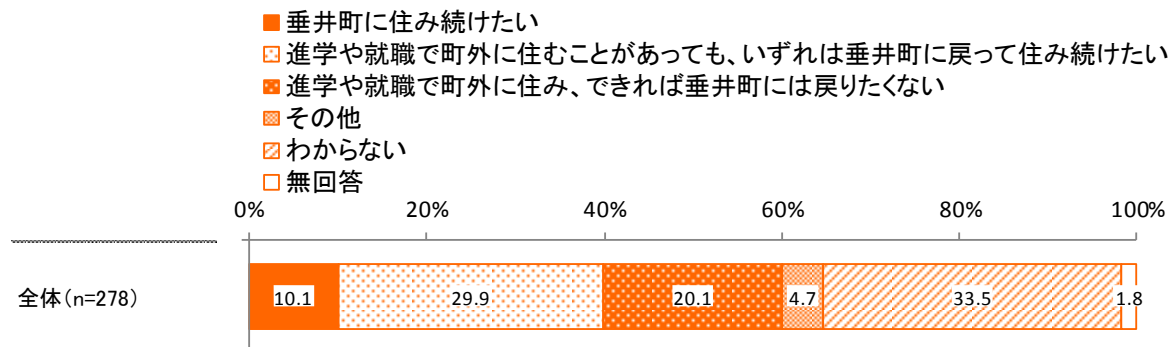
2. 将来の定住意向と不満

1) 定住意向

問2 あなたは、将来(大人になって)も垂井町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

□ “住み続けたい”が 40%、“戻りたくない”が 20.1%

図表 40 定住意向（全体）

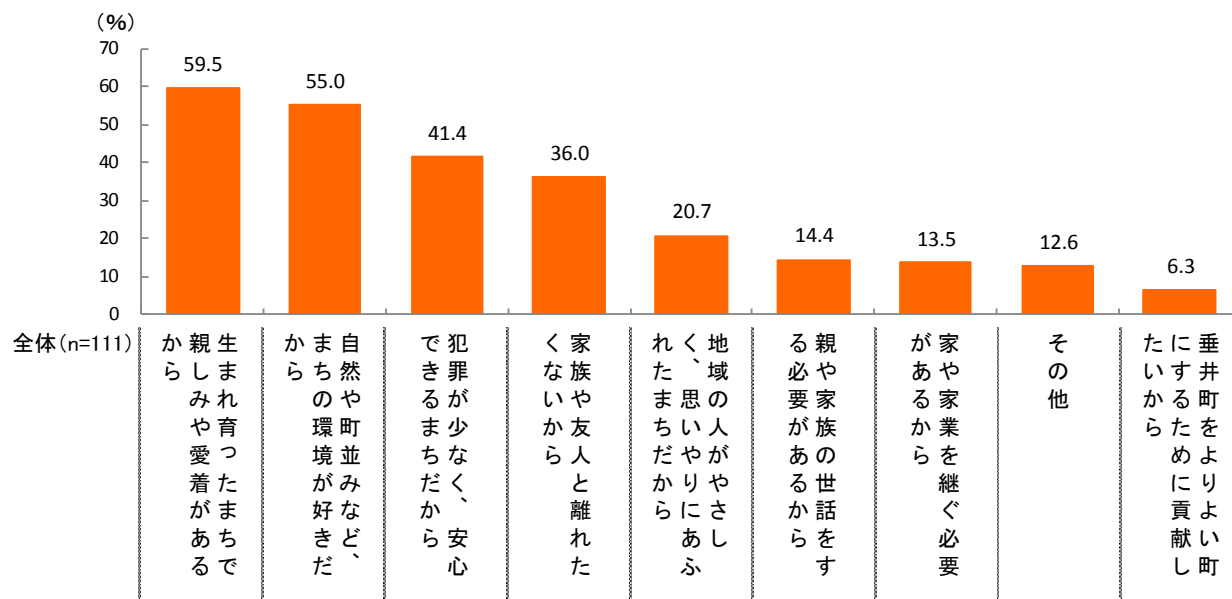


2) 住み続けたい理由

問3 住み続けたい主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

□ 住み続けたい理由は「生まれ育ったまちで親しみや愛着があるから」

図表 41 住み続けたい理由（全体）

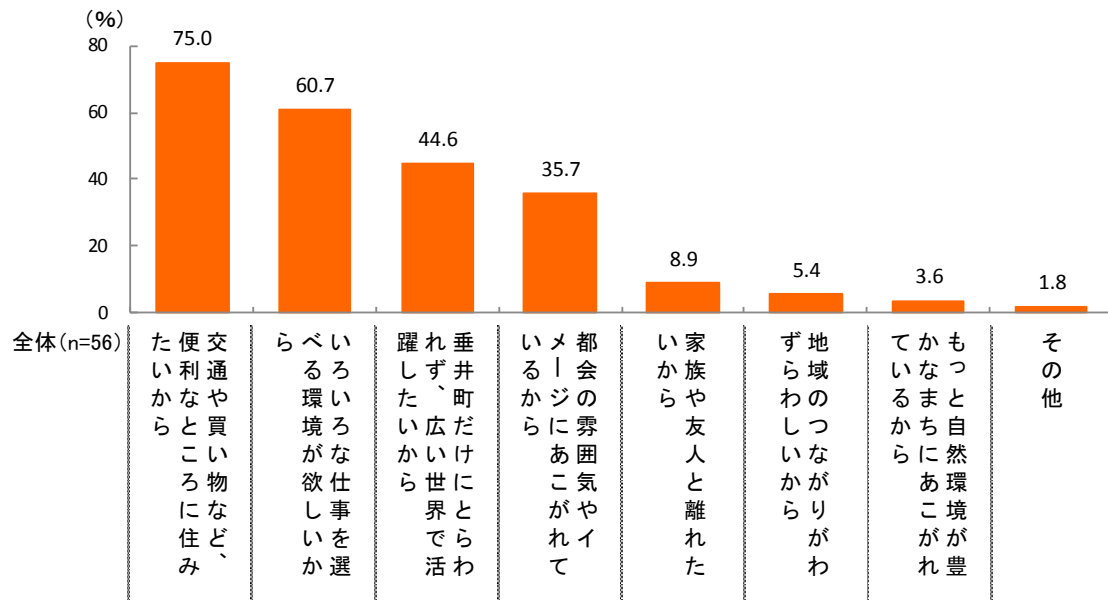


3) 町に戻りたくない理由

問4 町に戻りたくない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ☐ 町に戻りたくない理由は、「交通や買い物など便利なところに住みたいから」

図表 42 町に戻りたくない理由（全体）

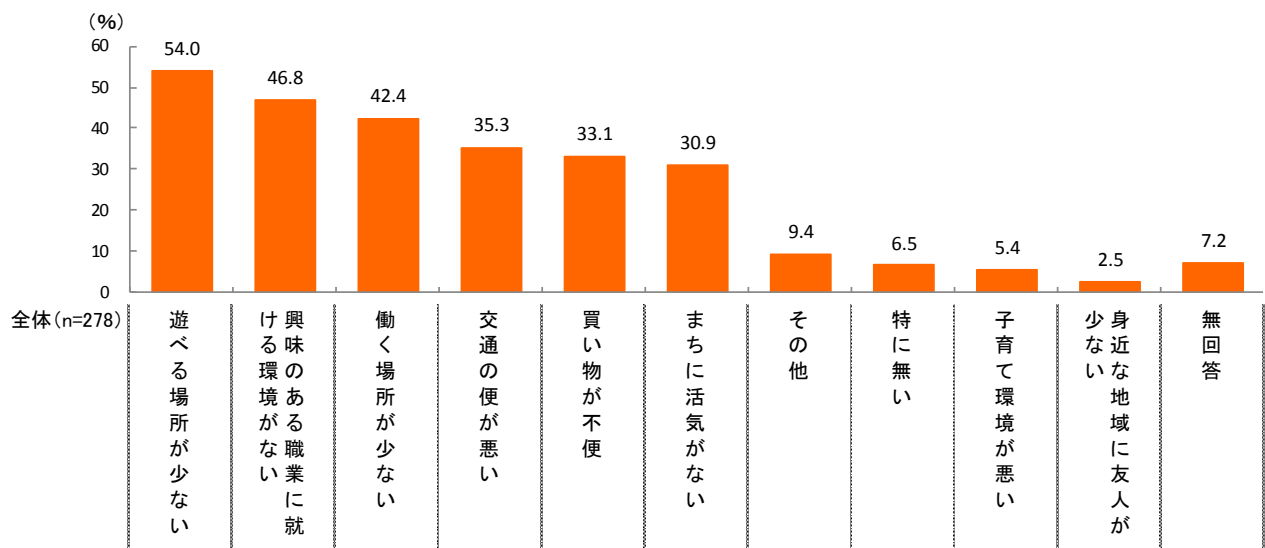


4) 将来の垂井町に感じる不満

問5 もし、あなたが将来垂井町に住み続けることになったら、不満や不便を感じるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ☐ 将来の不満や不便を感じるものは、「遊べる場所が少ない」「興味のある職業に就ける環境」「働く場所」など

図表 43 将来の垂井町に感じる不満（全体）



3. 垂井町の将来のまちづくりについて

1) 将来のまちづくりについて

問6 あなたが垂井町の町長になったら、一番にやってみたいことは何ですか。また、将来どのようなまちになったらいいと思いますか。ご自由にご記載ください。

- 町長になってやってみたいことは“**娯楽施設**”“**商業施設**”の充実など
将来に望む姿は“**活気のある**”、“**自然環境がよい**”まちなど

図表 44 町長になったらやってみたいこと

内容	件数	内容	件数	内容	件数
・ 娯楽施設の充実	32	・ 町のPR	11	・ 交流できる施設を作る	4
・ 商業施設の充実	23	・ 教育の充実	10	・ 人口対策	3
・ イベント開催	22	・ 公園の充実	9	・ 商店街について	3
・ 町づくりをする	21	・ 労働環境の整備	9	・ 企業誘致をする	3
・ お店の充実	20	・ 公共施設の整備	8	・ スポーツ振興	2
・ 自然環境の整備	19	・ 子育て支援の充実	8	・ 災害対策の充実	2
・ 交通事情の改善	17	・ 土地開発をする	8	・ エコ活動	2
・ 観光の活性化	15	・ 住環境の整備	8	・ ごみ分別	2
・ 地域交流の活性化	14	・ 財政対策	6	・ その他	18
・ 学校設備の充実	13	・ 都市化	6		
・ 防犯対策の充実	12	・ 道路整備をする	4		

図表 45 将来、こんなまちになってほしい

内容	件数	内容	件数	内容	件数
・ 活気のある町	48	・ 公共施設の改善	9	・ 教育環境の充実	5
・ 自然環境がよい	36	・ 福祉サービスの充実	7	・ 土地開発をする	4
・ 商業施設の活性化	32	・ 働く場所がある町	7	・ イベントの町	4
・ 交通事情の改善	26	・ 都市化	7	・ 遊べる場所がある町	4
・ 安心・安全な町	23	・ 観光の町	7	・ 有名な町	4
・ 住みよい・暮らしやすい町	21	・ 住環境の改善	7	・ 愛着のある町	4
・ 楽しい町	15	・ 垂井町のPRをする	6	・ 少子高齢化を抑制する	3
・ 地域交流のある町	15	・ 人口問題	6	・ 建物を建設	3
・ 人のいる町	12	・ 子育て環境の整備	6	・ 思いやりのある町	3
・ 道路整備	12	・ 不便のない町	5	・ 栄えている町	3
・ 現状維持	11	・ 交通安全	5	・ 環境美化	3
・ 娯楽施設が欲しい	10	・ スポーツ振興	5	・ 挨拶ができる町	2
・ 労働環境の改善	9	・ イベントを増やす	5	・ 昔と今が融合した町	2
・ 明るい町	9	・ 観光客の取り込み	5	・ その他	9

・ ・ 保護者アンケート ・ ・



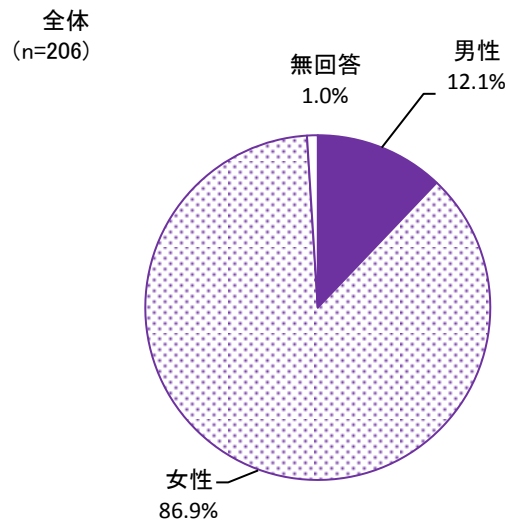
I. 調査結果

1. ご家庭の状況について

1) 性別

- 「男性」が12.1%、「女性」が86.9%

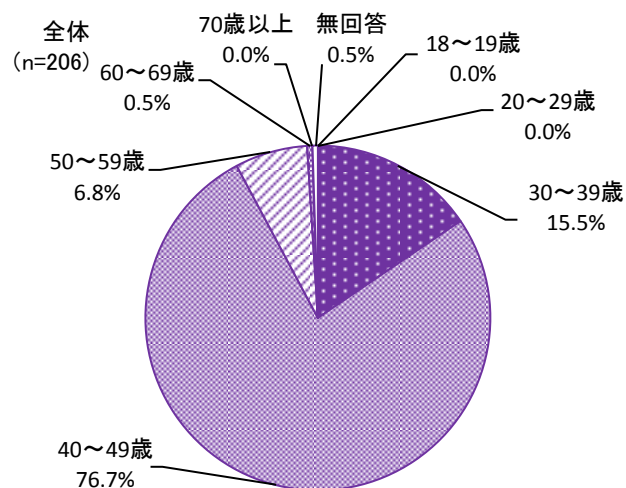
図表 46 性別



2) 年代

- 「40～49歳」が76.7%、「30～39歳」が15.5%など

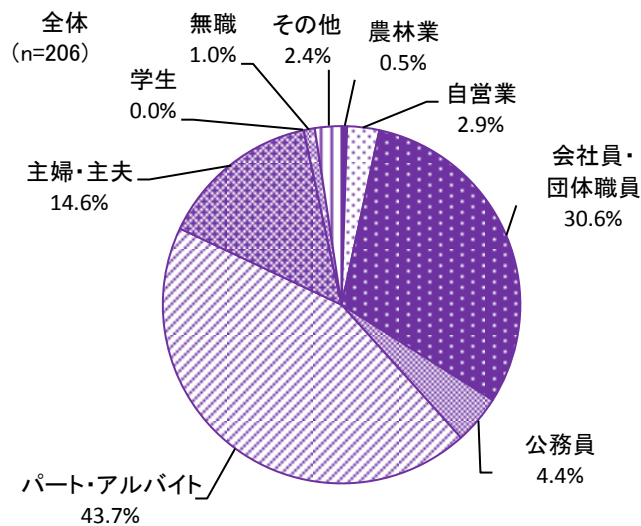
図表 47 年代



3) 職業

- 「パート・アルバイト」が43.7%、「会社員・団体職員」が30.6%など

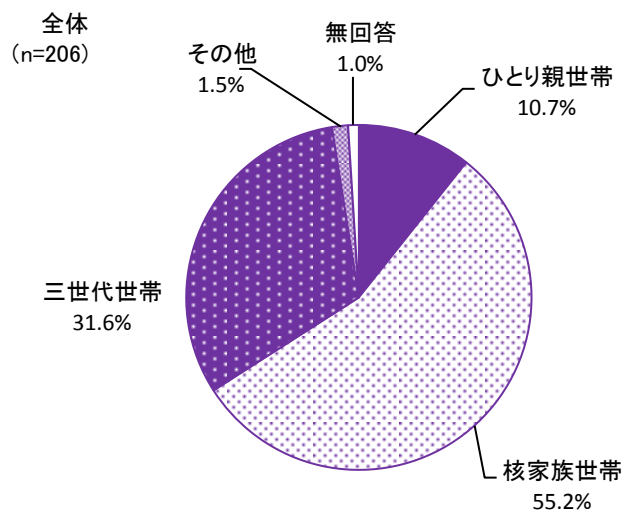
図表 48 職業



4) 世帯構成

- 「核家族世帯」が55.2%、「三世帯世帯」が31.6%、「ひとり親世帯」が10.7%

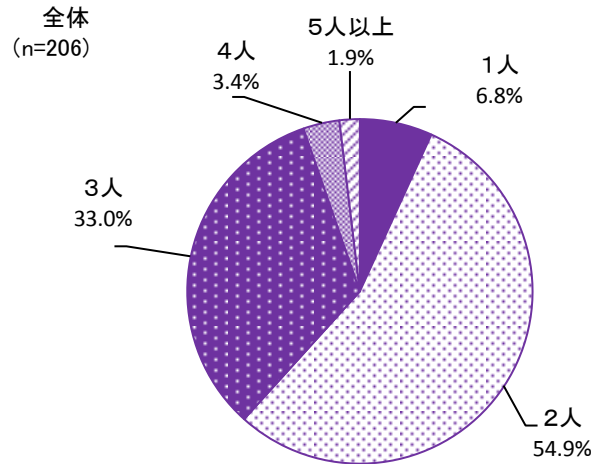
図表 49 世帯構成



5) お子さんの人数

- 「2人」が54.9%、「3人」が33.0%など

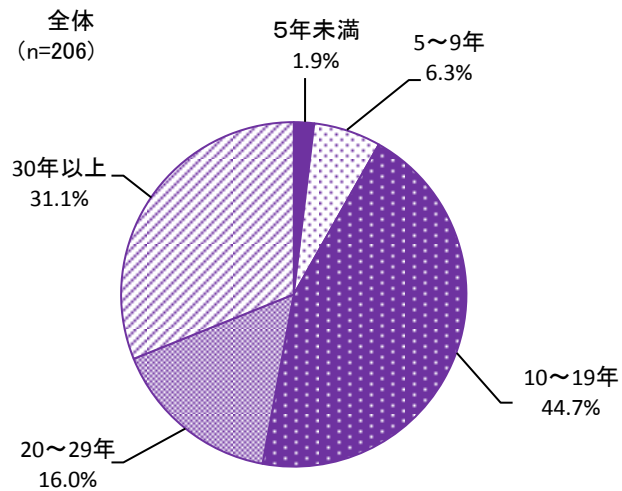
図表 50 お子さんの人数



6) 町内での居住年数

- 「10～19年」が44.7%、「30年以上」が31.1%など

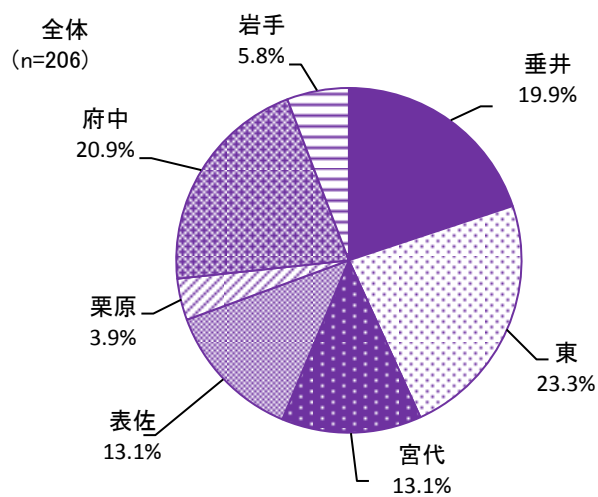
図表 51 町内での居住年数



7) 居住地区

- 「東」が23.3%、「府中」が20.9%、「垂井」が19.9%など

図表 52 居住地区



2. 町の印象と定住意向などについて

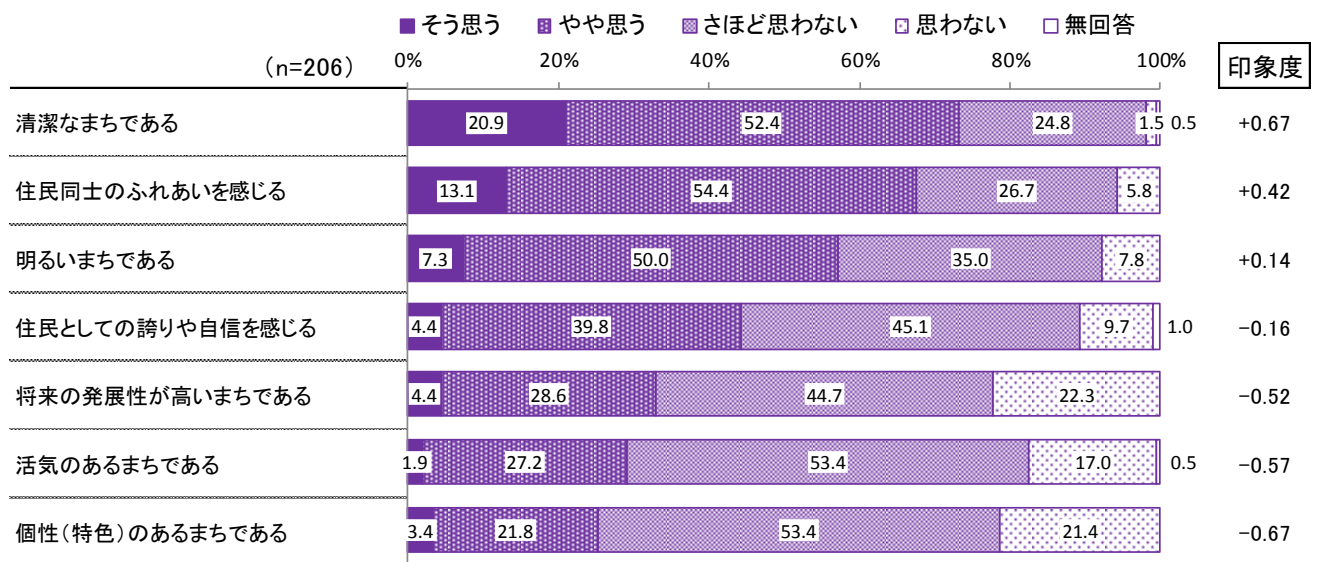
1) 町の印象

問1 あなたは次のような垂井町の印象についてどのように感じておられますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

垂井町の印象について、[そう思う] を＋2点、[やや思う] を＋1点、[さほど思わない] を－1点、[思わない] を－2点として項目ごとに印象度（評価点）を算出した。

□ 垂井町の印象は、“清潔なまち”、“個性（特色）のないまち”など

図表 53 町の印象（全体）

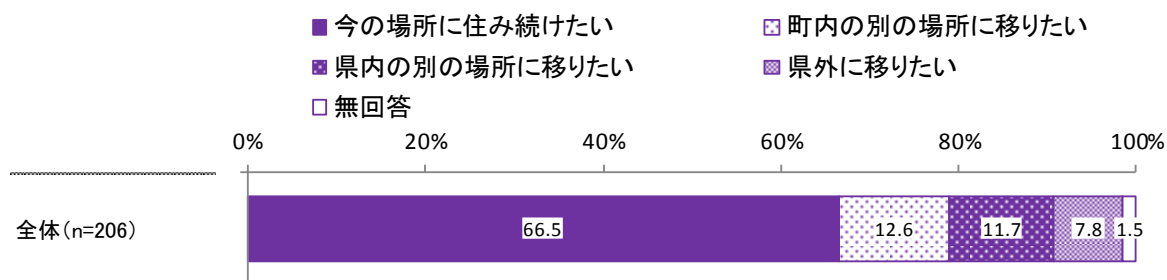


2) 定住意向

問2 あなたは将来も垂井町に住み続けたいと思われませんか。(○は1つ)

□ 垂井町での定住意向は、「今の場所に住み続けたい」が 66.5%

図表 54 定住意向（全体）

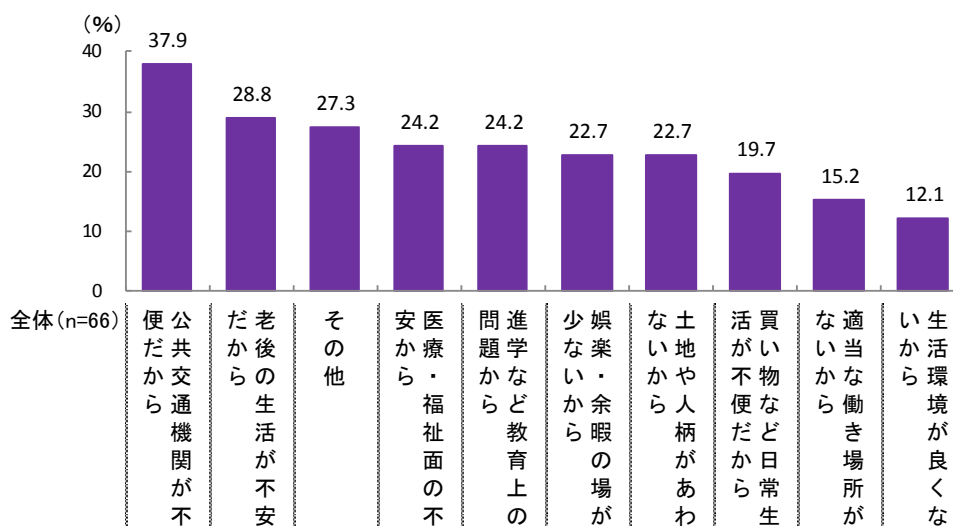


3) 移りたいと思う理由

問3 この場所から移りたいと思われる主な理由はどのようなことでしょうか。(○はいくつでも)

□ 移りたい主な理由は、「公共交通機関が不便だから」、「老後の生活が不安だから」など

図表 55 移りたいと思う理由（全体）



3. 垂井町での子育て環境について

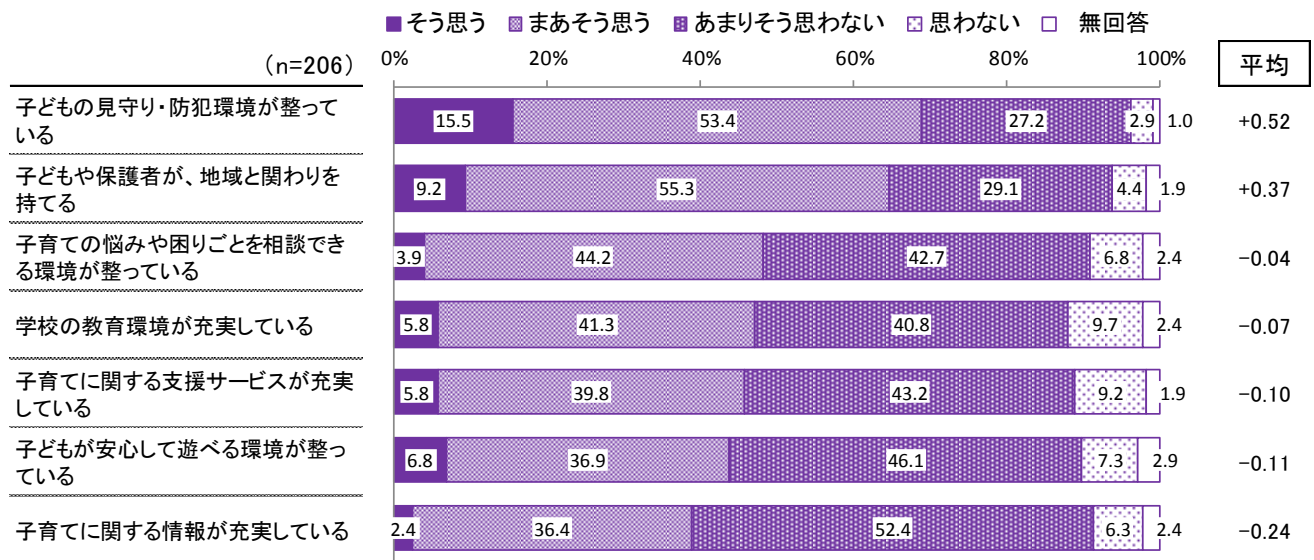
1) 家庭をとりまく環境

問4 垂井町の子どもや子育て家庭をとりまく環境について、どのように感じますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

垂井町の子どもや子育て家庭をとりまく環境について、「そう思う」を＋2点、「まあそう思う」を＋1点、「あまりそう思わない」を－1点、「思わない」を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

□ 家庭をとりまく環境で感じることは、“防犯環境整備”や“地域との関わり”など

図表 56 家庭をとりまく環境（全体）

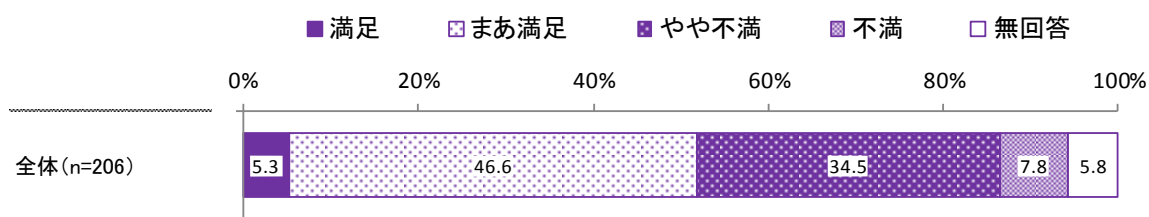


2) 子育ての満足・不満

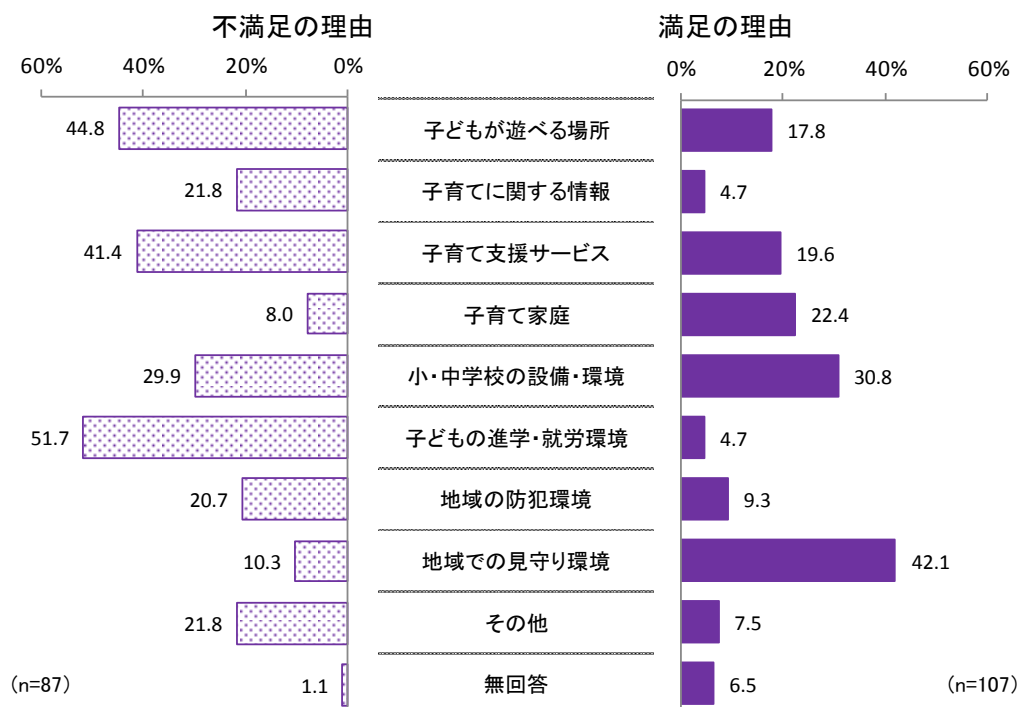
問5 総合的にみて、垂井町は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)
また、満足／不満である理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 子育てしやすいまちに“満足している”人は 51.9%、
- 満足している理由は“地域での見守り環境” 不満足の理由は“子どもの進学・就労環境不足”など

図表 57 子育てしやすいまちの満足度（全体）



図表 58 満足・不満足の理由（全体）

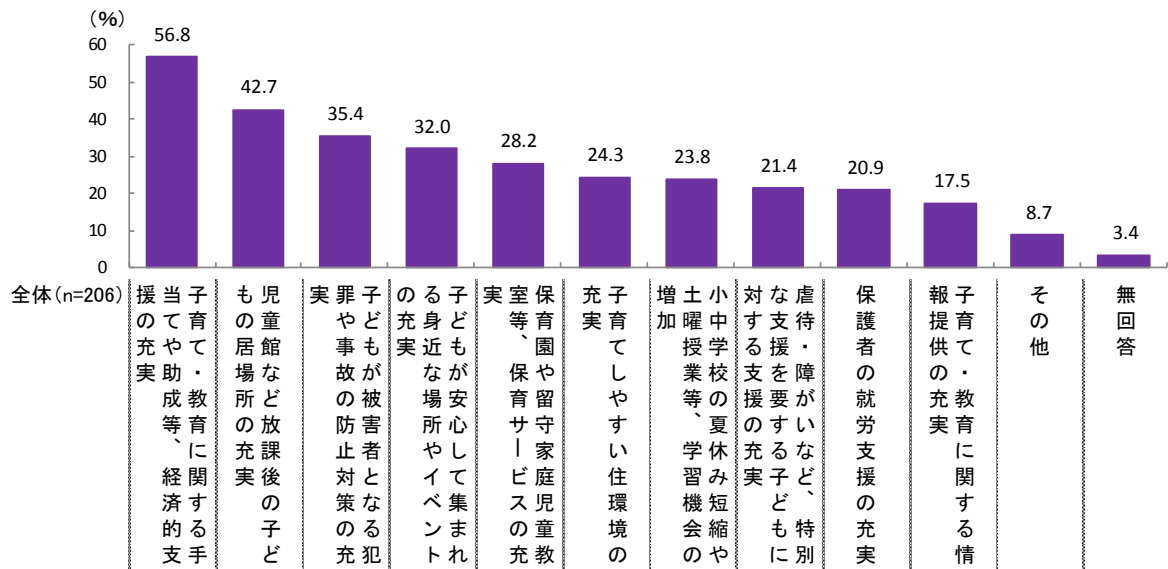


3) 力を入れるべきこと

問6 垂井町が子育てしやすいまちになるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

□ 力を入れるべきことは、“経済的支援”“放課後の居場所”など

図表 59 力を入れるべきこと（全体）



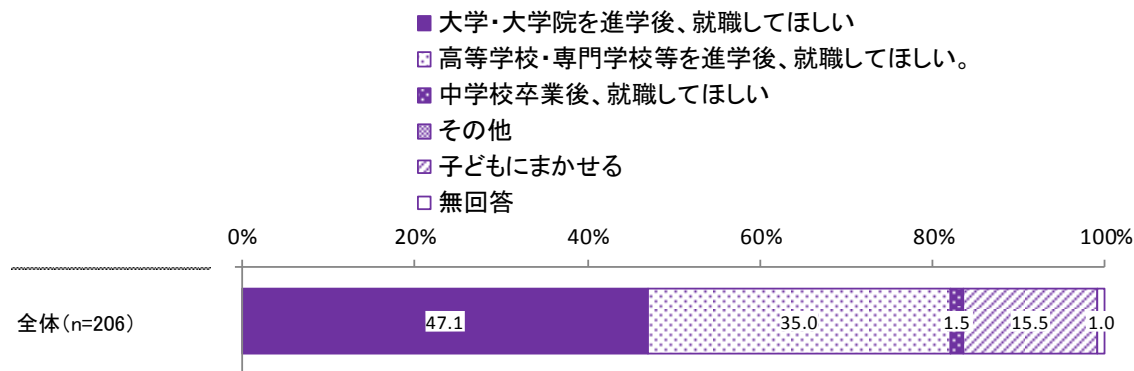
4. 子どもの進路について

1) 子どもの進路

問7 中学3年生のお子さんの進路について伺います。お子さんの進路の希望をどのようにお考えですか。(〇は1つ)

□ 子どもの進路希望は、“高卒以上”が8割以上

図表 60 子どもの進路（全体）

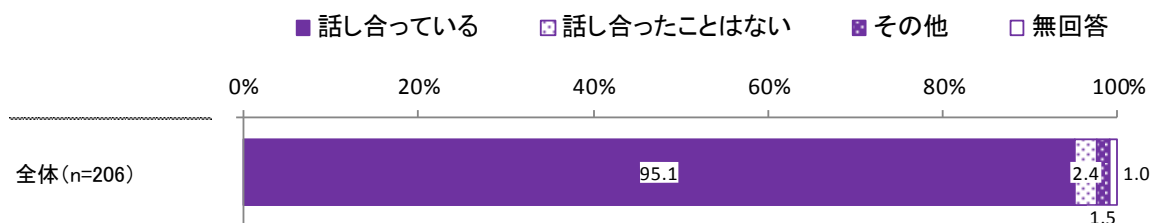


2) 子どもの将来について

問8 お子さんの進路や将来の夢について、話し合っていますか。(〇は1つ)

□ 子どもの将来の夢について「話し合っている」が95.1%

図表 61 将来の夢について（全体）

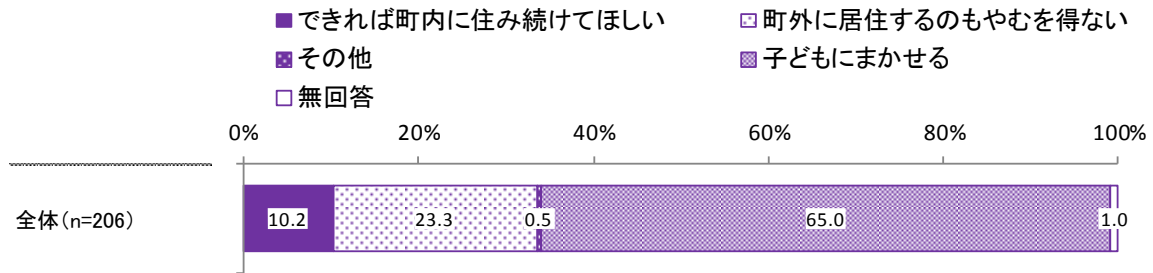


3) 子どもの将来の居住場所

問9 将来、お子さんが就労・結婚する際の居住場所について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

□ 子どもの将来の居住場所は「子どもにまかせる」が 65.0%

図表 62 将来の居住場所（全体）



・ ・ 正職員アンケート ・ ・



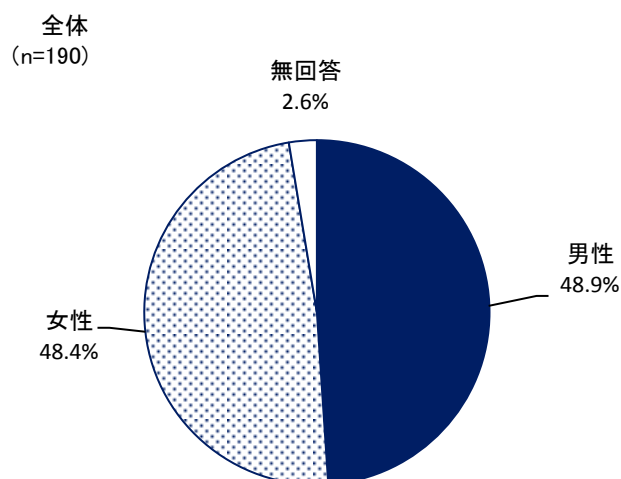
I. 調査結果

1. ご自身について

1) 性別

- 「男性」が48.9%、「女性」が48.4%

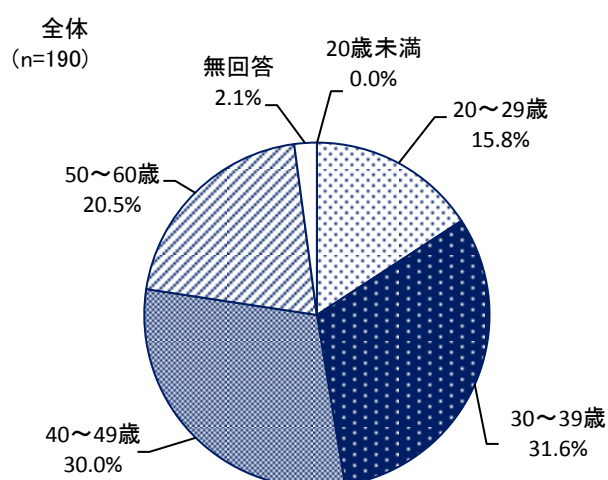
図表 63 性別



2) 年代

- 「30～39歳」が31.6%、「40～49歳」が30.0%、「50～60歳」が20.5%など

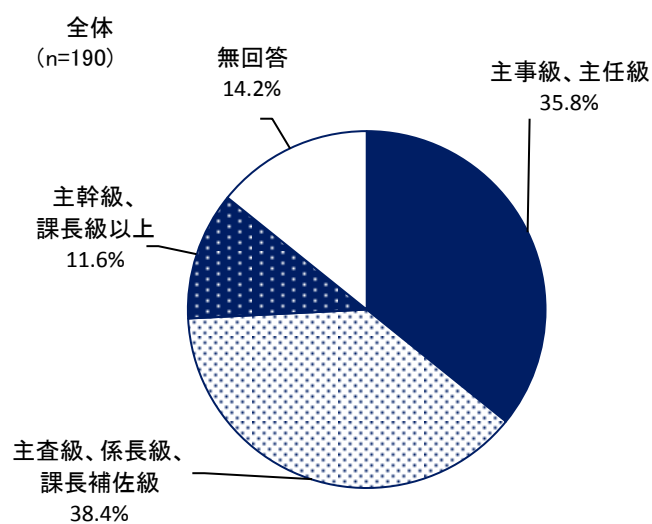
図表 64 年代



3) 職級

- 「主査級、係長級、課長補佐級」が 38.4%、「主事級、主任級」が 35.8%、「主幹級、課長級以上」が 11.6%

図表 65 職級



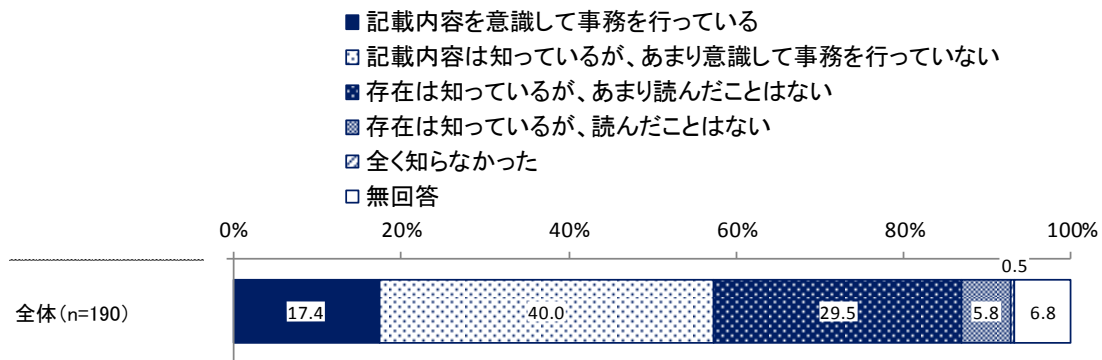
2. 総合計画の認識と評価

1) 日頃の意識

問1 あなたは、日頃から「垂井町第5次総合計画」を意識した事務を行っていますか。(〇は1つ)

- ☐ 第5次総合計画は「記載内容は知っているが、あまり意識して事務を行っていない」が40.0%

図表 66 日頃の意識（全体）



3. 第5次総合計画の評価

1) 目標の満足度と重要度

問2 総合計画で掲げている以下の「まちづくりの目標」について、どれぐらい達成できていると思いますか。また、どれぐらい重要だと思いますか。

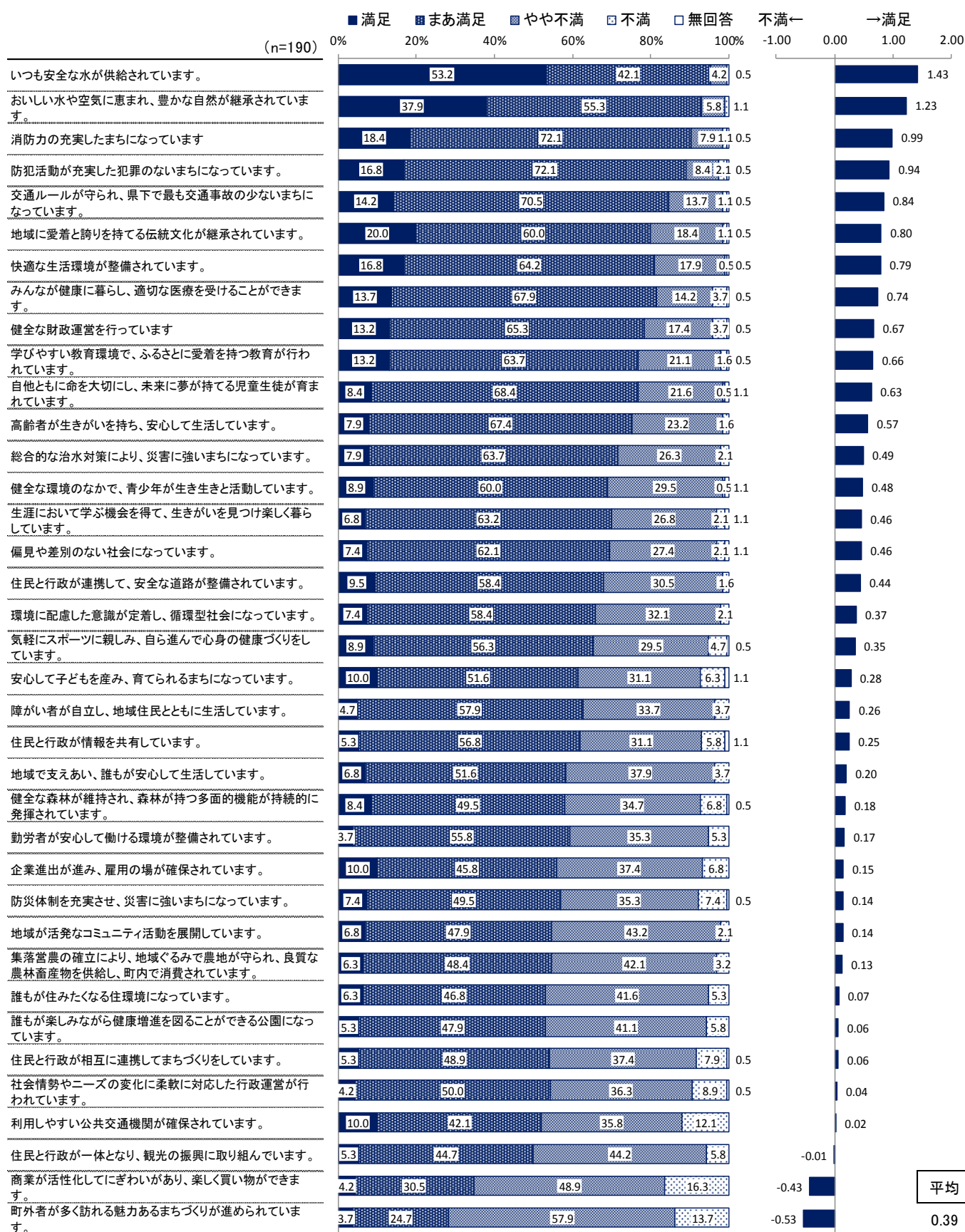
垂井町のまちづくりの目標に関する満足度について、〔満足〕を＋2点、〔まあ満足〕を＋1点、〔やや不満〕を－1点、〔不満〕を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

□ **満足度プラス評価が 34 項目、マイナス評価が 3 項目、平均 0.39 点**

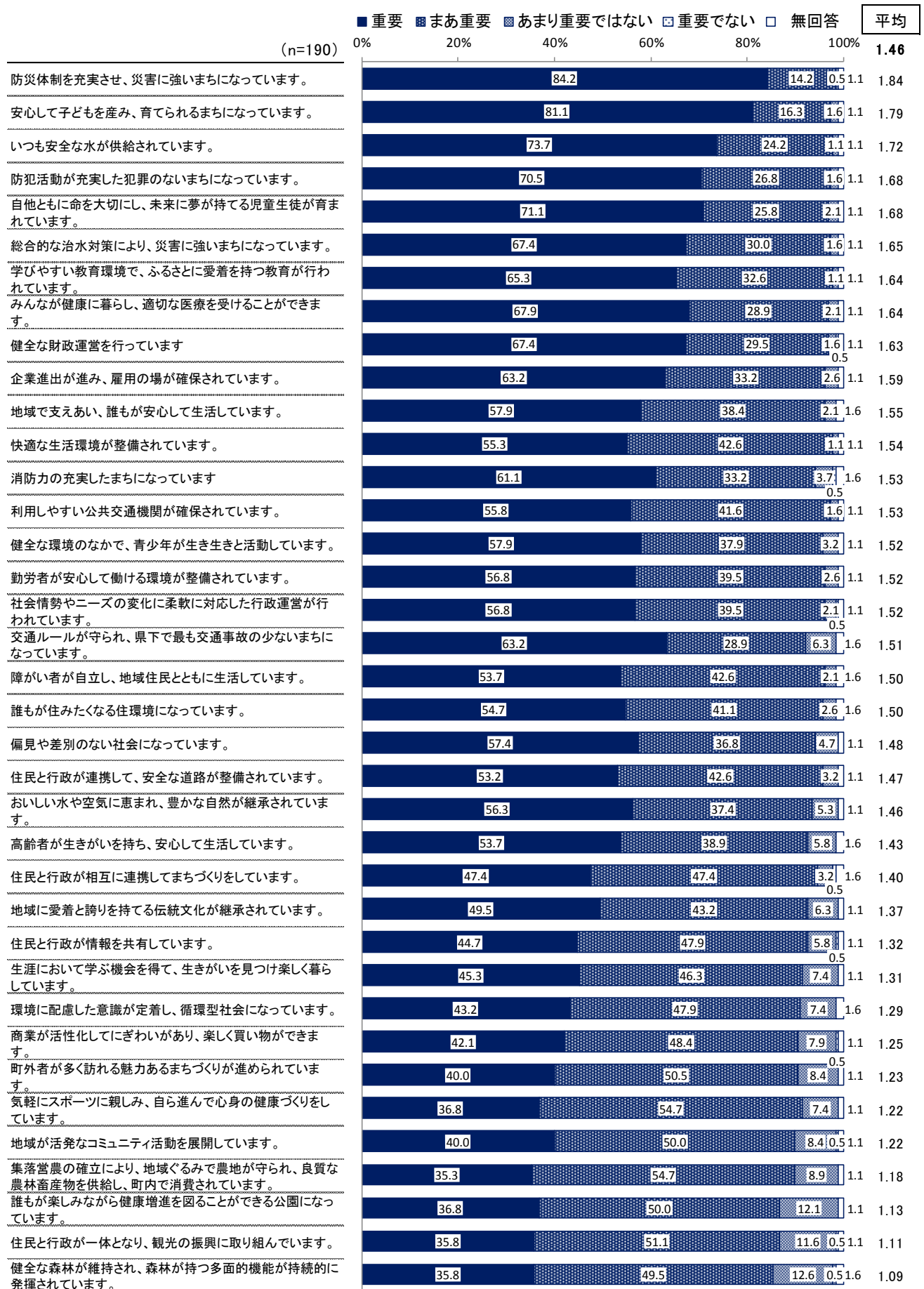
垂井町のまちづくりの目標に関する重要度について、〔重要〕を＋2点、〔まあ重要〕を＋1点、〔あまり重要でない〕を－1点、〔重要でない〕を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

□ **全ての項目において重要度が 1.00 以上、平均 1.46 点**

図表 67 目標の満足度



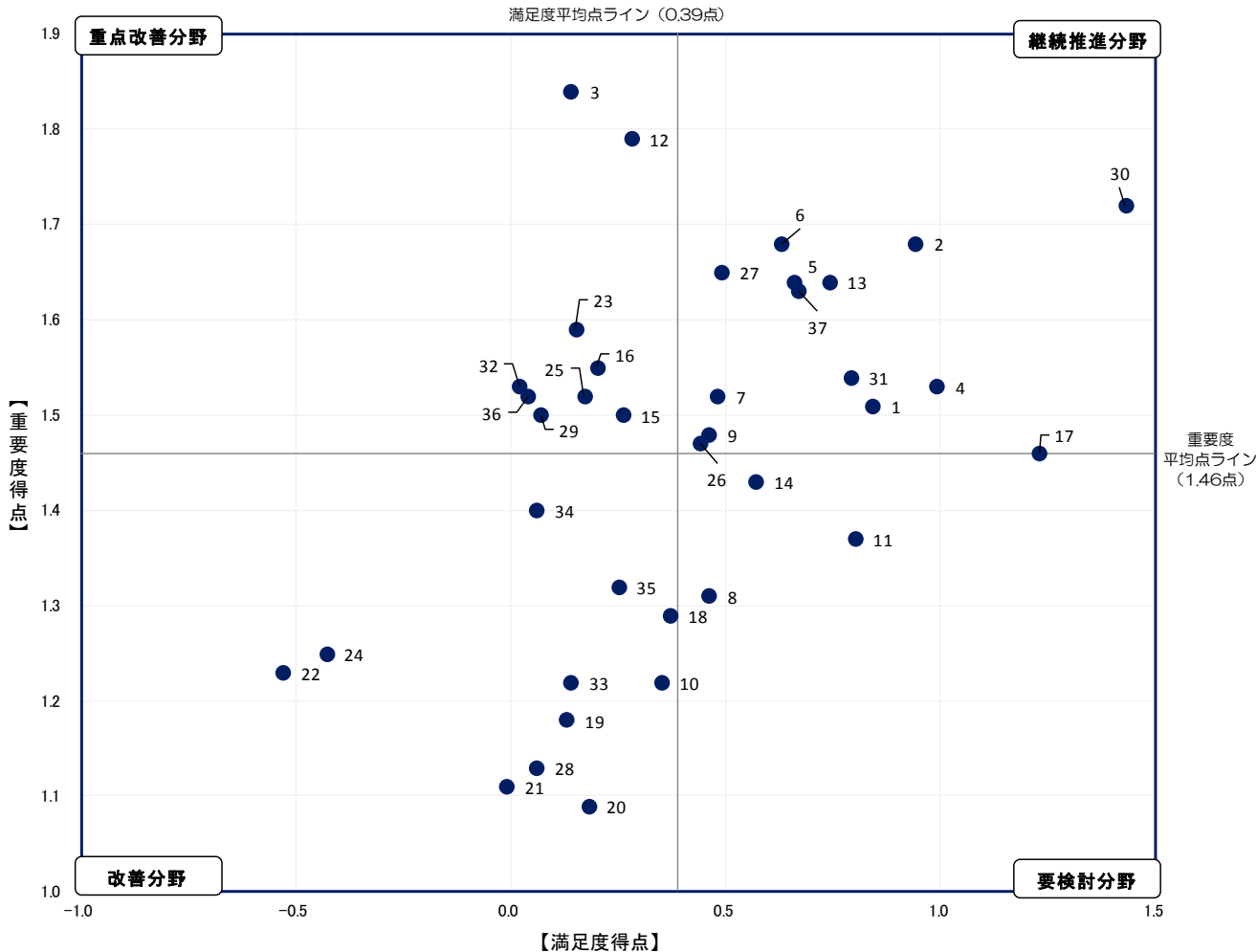
図表 68 目標の重要度



2) 満足度と重要度の評価

点数化した結果を下図の散布図に示し、座標上に表した。横軸が満足度、縦軸が重要度となっており、大きく4種類に分類した。それぞれの平均値は満足度が0.39、重要度が1.46となっている。

図表 69 満足度評価点と重要度評価点の散布図



【継続推進分野】 満足度も重要度も高い目標の方向性	【要検討分野】 満足度が高く、重要度が低い目標の方向性
【重点改善分野】 満足度が低く、重要度が高い目標の方向性	【改善分野】 満足度も重要度も低い目標の方向性

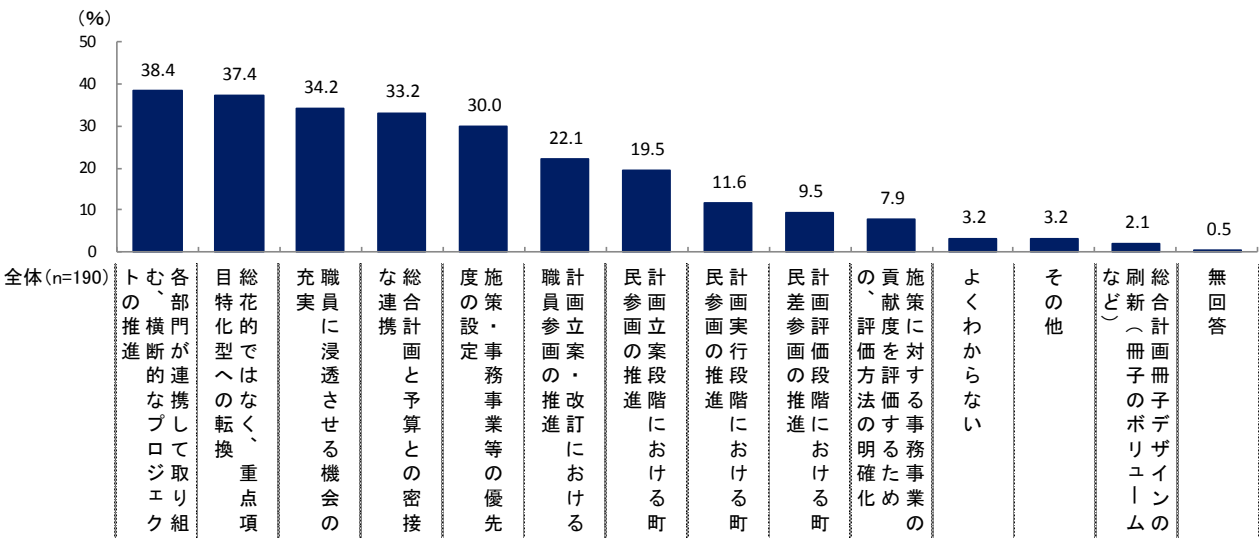
まちづくりの目標	
1 交通ルールが守られ、県下で最も交通事故の少ないまちになっています。	20 健全な森林が維持され、森林が持つ多面的機能が持続的に発揮されています。
2 防犯活動が充実した犯罪のないまちになっています。	21 住民と行政が一体となり、観光の振興に取り組んでいます。
3 防災体制を充実させ、災害に強いまちになっています。	22 町外者が多く訪れる魅力あるまちづくりが進められています。
4 消防力の充実したまちになっています。	23 企業進出が進み、雇用の場が確保されています。
5 学びやすい教育環境で、ふるさとに愛着を持つ教育が行われています。	24 商業が活性化してにぎわいがあり、楽しく買い物ができます。
6 自他ともに命を大切に、未来に夢が持てる児童生徒が育まれています。	25 勤労者が安心して働ける環境が整備されています。
7 健全な環境のなかで、青少年が生き生きと活動しています。	26 住民と行政が連携して、安全な道路が整備されています。
8 生涯において学ぶ機会を得て、生きがいを見つけ楽しく暮らしています。	27 総合的な治水対策により、災害に強いまちになっています。
9 偏見や差別のない社会になっています。	28 誰もが楽しみながら健康増進を図ることができる公園になっています。
10 気軽にスポーツに親しみ、自ら進んで心身の健康づくりをしています。	29 誰もが住みたくなる住環境になっています。
11 地域に愛着と誇りを持てる伝統文化が継承されています。	30 いつも安全な水が供給されています。
12 安心して子どもを産み、育てられるまちになっています。	31 快適な生活環境が整備されています。
13 みんなが健康に暮らし、適切な医療を受けることができます。	32 利用しやすい公共交通機関が確保されています。
14 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活しています。	33 地域が活発なコミュニティ活動を展開しています。
15 障がい者が自立し、地域住民とともに生活しています。	34 住民と行政が相互に連携してまちづくりをしています。
16 地域で支えあい、誰もが安心して生活しています。	35 住民と行政が情報を共有しています。
17 おいしい水や空気に恵まれ、豊かな自然が継承されています。	36 社会情勢やニーズの変化に柔軟に対応した行政運営が行われています。
18 環境に配慮した意識が定着し、循環型社会になっています。	37 健全な財政運営を行っています。
19 集落営農の確立により、地域ぐるみで農地が守られ、良質な農林畜産物を供給し、町内で消費されています。	

3) 改善すべき点

問3 総合計画をより使いやすく、機能的にするためにはどのように改善すべきだと思いますか。特に重要だと思う内容について、最大3つまで○をつけてください。

□ “各部門と連携した取り組み”“重点項目特化型への転換”“職員への浸透”など

図表 70 改善すべき点（全体）



・ ・ 臨時職員アンケート ・ ・



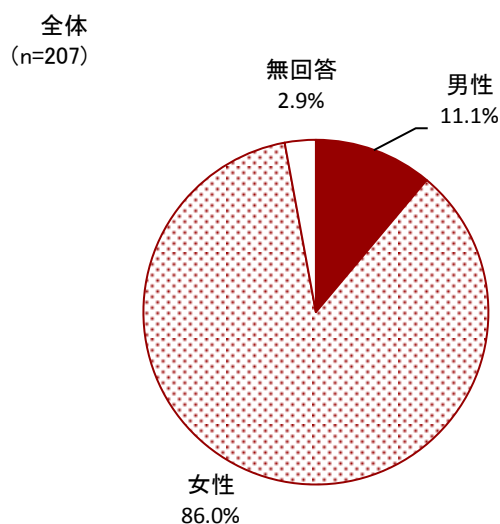
I. 調査結果

1. ご自身について

1) 性別

- 「男性」が 11.1%、「女性」が 86.0%

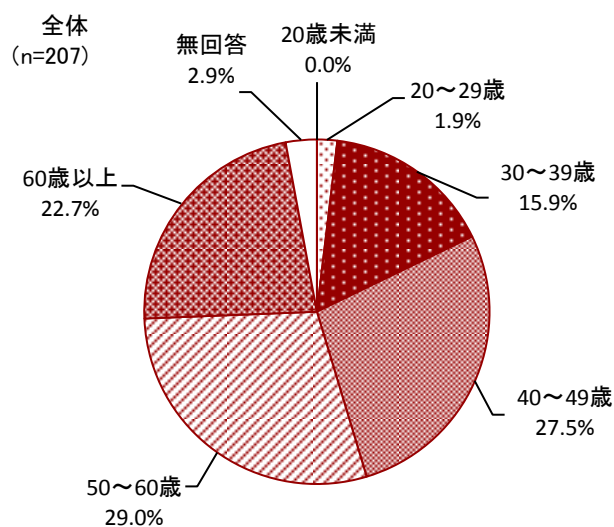
図表 71 性別



2) 年代

- 「50～60 歳」が 29.0%、「40～49 歳」が 27.5%、「60 歳以上」が 22.7%など

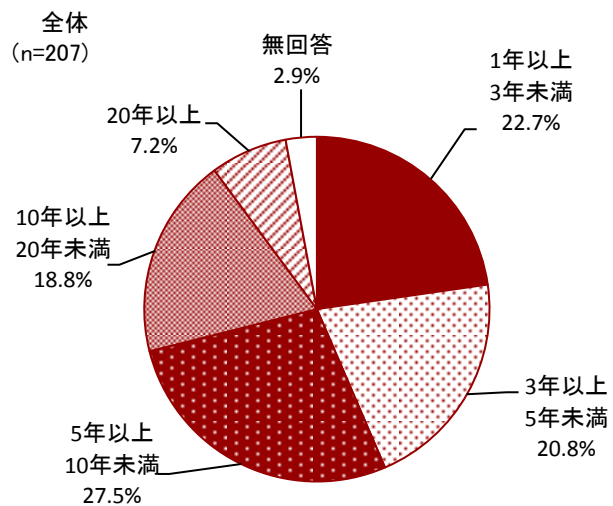
図表 72 年代



3) 勤続年数

- 「5年以上 10年未満」が27.5%、「1年以上 3年未満」が22.7%など

図表 73 勤続年数



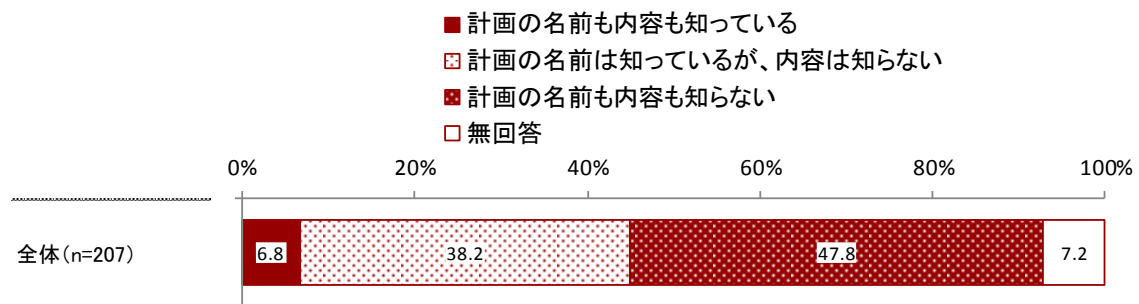
2. 総合計画の認識と評価

1) 総合計画の認知

問1 あなたは、「垂井町第5次総合計画」について知っていますか。(○は1つ)

□ 「計画の名前も内容も知らない」が 47.8%

図表 74 総合計画の認知



3. 町の印象について

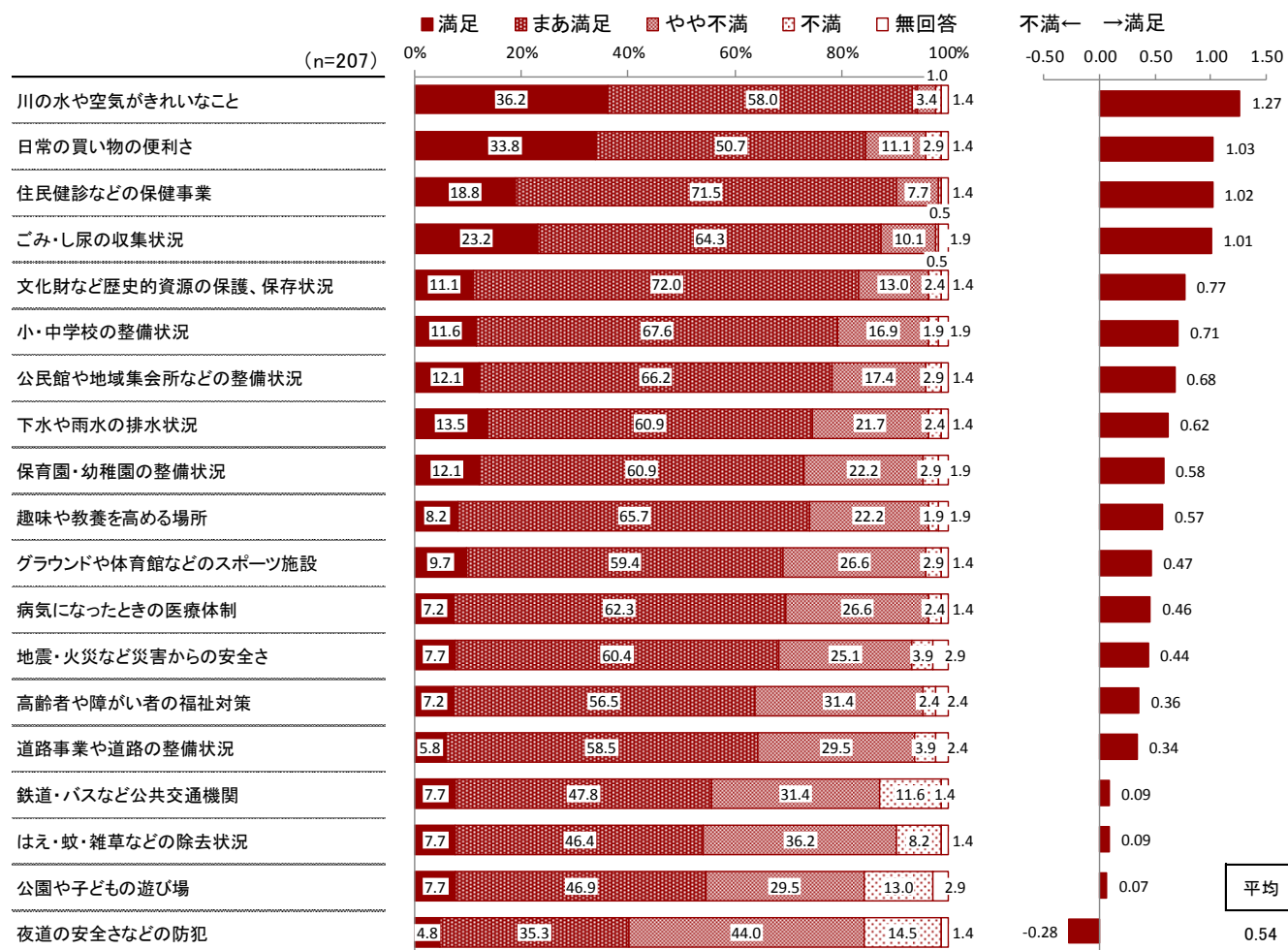
1) 取組みの満足度・重要度

問2 あなたのお宅のまわりのさまざまな面について、どれくらい満足されていますか。また、それぞれの取組みがどれくらい重要だと思われますか。次にあげる項目について、あなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

垂井町のまちづくりの取組みに対する満足度について、「満足」を＋2点、「まあ満足」を＋1点、「やや不満」を－1点、「不満」を－2点として項目ごとに評価点を算出した。

□ 満足度プラス評価が 18 項目、マイナス評価が 1 項目、平均 0.54 点

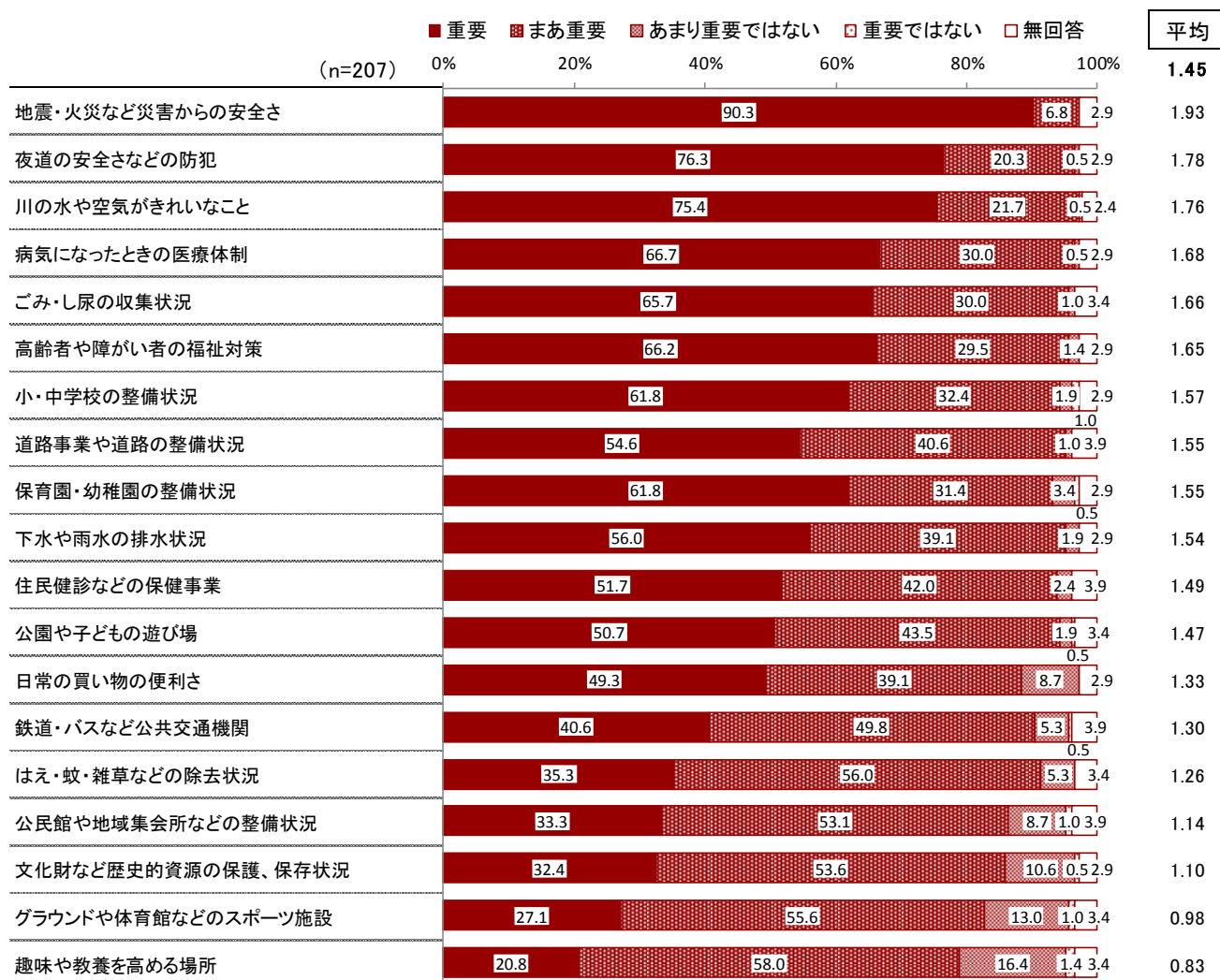
図表 75 垂井町の取組みの満足度



垂井町のまちづくりの取組みに対する重要度について、「重要」を＋２点、「まあ重要」を＋１点、「あまり重要でない」を－１点、「重要でない」を－２点として項目ごとに評価点を算出した。

❑ 重要度 1.00 以上が 17 項目、1.00 未満が 2 項目、平均 1.45 点

図表 76 垂井町の取組みの重要度



2) 満足度と重要度の評価

問2の各項目に関して、満足度と重要度の認識の差（優先度）について評価するため、以下の手順で数値を算出した。重要度が高く、満足度が低いほど優先度の数値の差が高くなる結果となる。

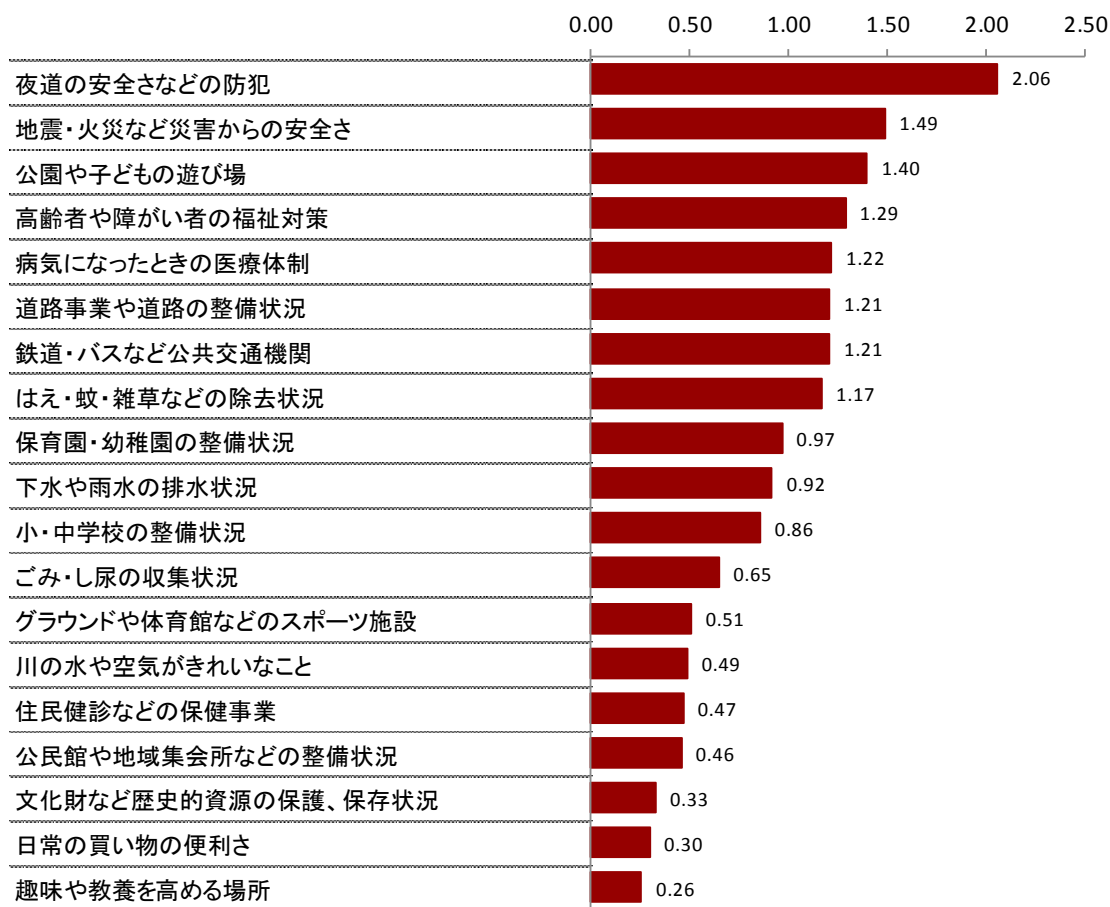
$$\text{重要度評価点} - \text{満足度評価点} = \text{満足度と重要度の認識の差（優先度）}$$

- 「夜道の安全さなどの防犯」、「地震・火災など災害からの安全さ」などで優先度が高い。

図表 77 満足度・重要度・優先度 5項目

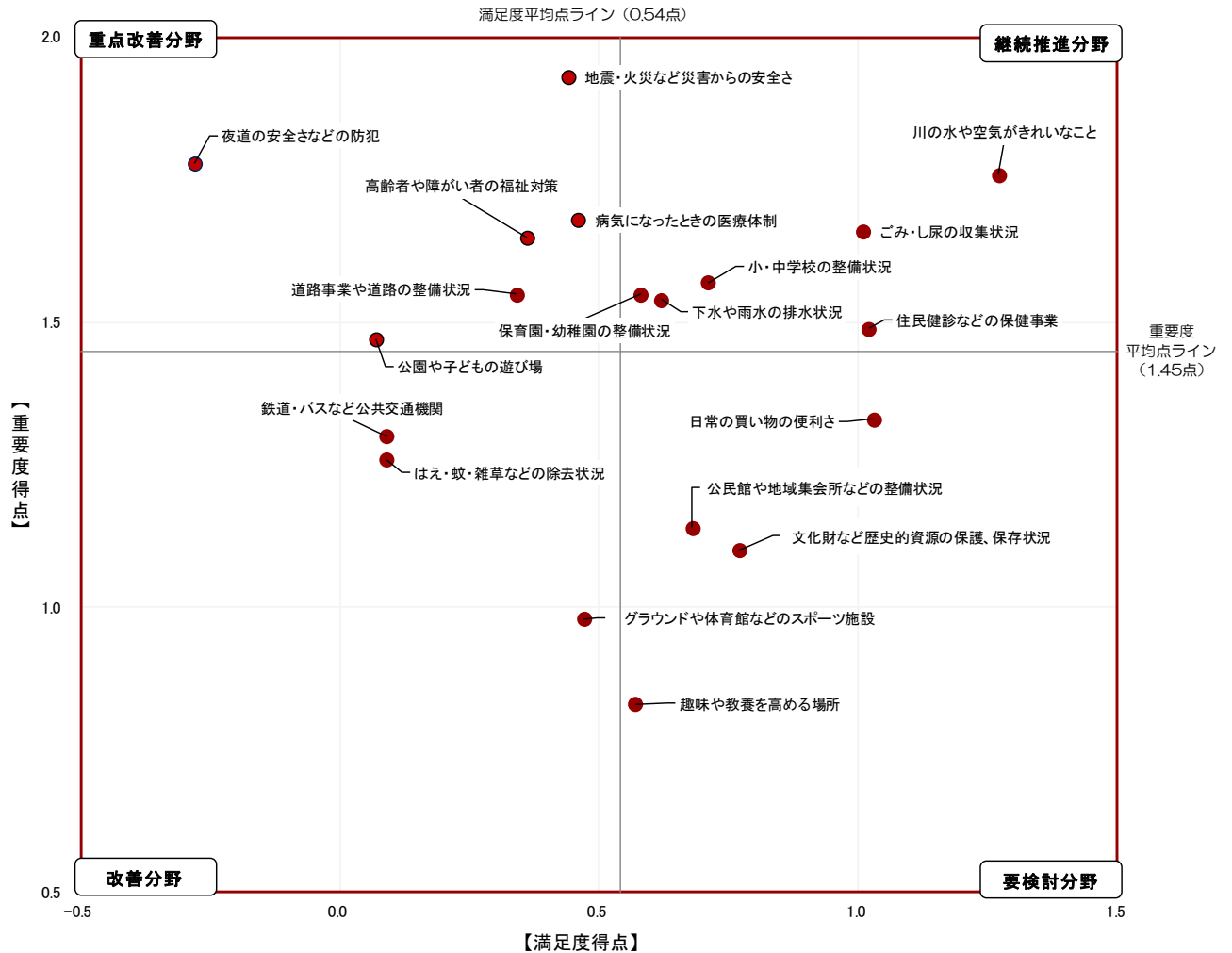
順位	満足度 下位5項目		重要度 上位5項目		優先度 上位5項目	
1	夜道の安全さなどの防犯	-0.28	地震・火災など災害からの安全さ	1.93	夜道の安全さなどの防犯	2.06
2	公園や子どもの遊び場	0.07	夜道の安全さなどの防犯	1.78	地震・火災など災害からの安全さ	1.49
3	鉄道・バスなど公共交通機関	0.09	川の水や空気がきれいなこと	1.76	公園や子どもの遊び場	1.40
4	はえ・蚊・雑草などの除去状況	0.09	病気になったときの医療体制	1.68	高齢者や障がい者の福祉対策	1.29
5	道路事業や道路の整備状況	0.34	ごみ・し尿の収集状況	1.66	病気になったときの医療体制	1.22

図表 78 取組みの優先度



点数化した結果を下図の散布図に示し、座標上に表した。横軸が満足度、縦軸が重要度となっており、大きく4種類に分類した。それぞれの平均値は満足度が0.54、重要度が1.45となっている。

図表 79 満足度評価点と重要度評価点の散布図



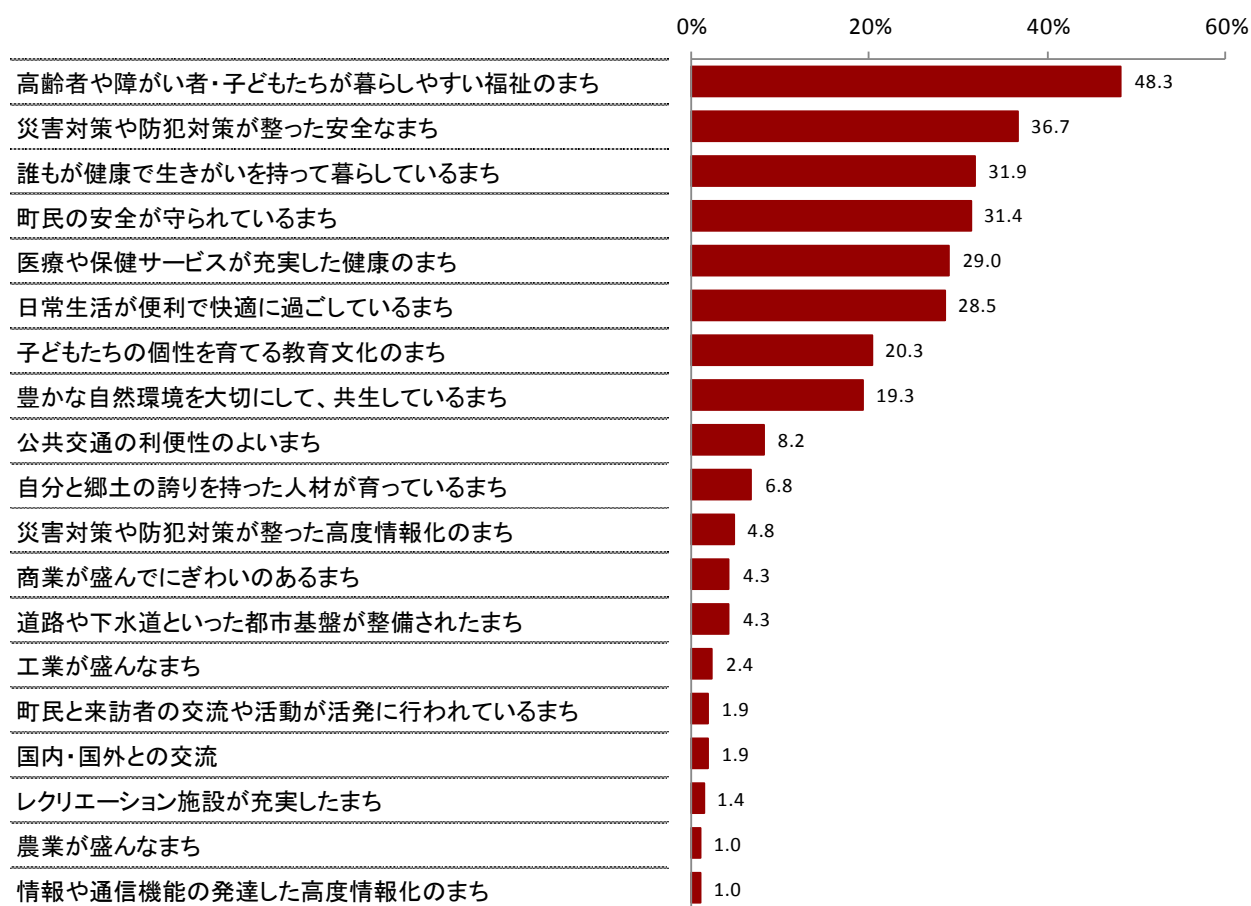
【継続推進分野】 満足度も重要度も高い施策の方向性	住民ニーズは大きいですが、ほぼそれに見合った行政サービスが提供されており、今後とも現在の水準を維持していく。
【要検討分野】 満足度が高く、重要度が低い施策の方向性	住民ニーズはそれほど大きくないが、行政サービスは十分に提供されている。今後は、住民ニーズの動向に注視しながら、施策の力の入れ方の増減を図る必要がある。
【重点改善分野】 満足度が低く、重要度が高い施策の方向性	住民ニーズは大きいですが、行政サービスがそれに追いついていない。今後は重点的に資源を投入していく必要がある。
【改善分野】 満足度も重要度も低い施策の方向性	住民ニーズはそれほど大きくなく、満足度も低い。今後は施策の方向性や必要性、また、行政自らサービスすべきか、企業、地域、個人がすべきかなど、その役割分担について検討する必要がある。

3) 将来の姿

問3 あなたが望む将来の垂井町の姿を次の中から3つまで○をつけてください。このほかに、あなたが考えるまちの姿があれば、その他の欄に具体的にご記入ください。

- ☐ 将来望む姿は、“暮らしやすい福祉のまち”“災害・防犯対策の安全なまち”など

図表 80 将来の姿



「第6次総合計画」策定に係るアンケート 調査結果報告書
《概要版》

平成29年2月

垂井町役場 企画調整課

岐阜県不破郡垂井町1532番地の1 垂井町役場

TEL：0584-22-1151（内線289） FAX：0584-22-5180

高校生・一般住民ワークショップのまとめ

高校生ワークショップにおける主要意見

【実施概要】

日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）

場所：岐阜県立不破高校

（次第）

- 1 あいさつ・説明
- 2 住みたいまちってどんなまち？
- 3 今の垂井町に足りないことは？
- 4 全体発表

【主要意見】

今後、より住みたいまちに変わっていくために必要なこととして、大きく分けて 4 つの指摘がありました。

一つ目は、道路状況や鉄道・バスアクセス等の向上です。道路環境や交通の便が悪いことで不便や不安を感じており、移動手段や環境の改善を求める声が多く挙げられていました。

二つ目は、商業施設（娯楽施設等）の検討です。ショッピングモール、ゲームセンター、コンビニなどの商業施設が不足していることを指摘しています。さらに具体的な施設名称や設置場所も挙げていることから、日々の生活でよく感じられているものであるとうかがえます。

三つ目は、住環境と地域のつながりの向上です。衛生環境や防犯環境の強化を地域ぐるみで進めるとともに、挨拶やお祭り、ボランティア等を通して「顔の見える関係づくり」が必要であるとの意見が挙げられました。

四つ目は、まちの情報発信です。他の人に聞かれたら羨ましがられるまちに住みたいとの声がありました。歴史を通じた観光のまちや誰もが住みやすいまち、賑わいのあるまちなど、より誇れるまちに住みたいという要望が見受けられました。

【意見概要】

【グループA】

ボランティア	
住みたいまち	自分たちに何ができるか
・あいさつがいっぱい ・笑顔やあいさつがあふれる街 ・みんなが笑顔 ・地域で協力できる街 ・子育てがしやすいまち ・みんなが住みやすいまち ・老後の生活を安心してすごせるまち ・高齢者も若い人もこの町に住みたいと思えるまち	・あいさつ運動をする ・自分からあいさつをしてあいさつを広める ・車いす体験などを行い、いつでも手助けができる環境にしていく ・ボランティア活動に進んで参加する ・地域の人が困っていたら助け合えるようにする

まちづくり			
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか	自分たちに何ができるか
・他の人に聞いたら「ああー、」となるような町	・働く場所 ・活気 ・人が少ない	・20代から30代の人が働きたいと思えるような職場を作る ・垂井祭りに参加している若い人が少ないから活気がない ・観光客などを増やす・イベントを多くして若者を呼ぶ ・12月31日から1月1日あたりまで南宮大社がにぎわうので、その日にイベントをたくさん催す	・ポスターなどを作成しPRする。 ・SNSでPRする ・自作PR動画を作成する ・友達などに呼びかけたりする ・PRイベントをする ・高校生でイベントを企画して開催する

ショッピング		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・ショッピングセンター等お店がたくさんある街 ・遊ぶ場所がたくさんある町 ・垂井町にはショッピングモールがないので大垣などへ行かないといけな ・便利な町	・お店が少ない ・公園が少ない ・垂井駅周辺以外の施設が少ない ・ショッピングモールみたいなお店がほしい ・ショッピングセンターなどのお店	・楽しめるような場所を増やす ・遊べるようなお店（ショッピングセンター）を増やしてほしい ・大きい施設を作る（アミューズメントパークなど） ・お店を増やす

環境			
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか	自分たちに何ができるか
・自然を大切にし、活気のある町 ・自然がいっぱい ・ごみが落ちていない、ごみが少ない	・ポイ捨てが多い	・ごみを捨てる場所を増やす ・ごみ捨て禁止の看板を作る	・ごみの分別をする ・ごみをみつけたらすすんで拾う ・ごみ拾いをゲーム形式で行うイベントを企画 ・ごみ拾いのボランティアをする

道路		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・住みやすい環境が整っている町	・街灯が少ない ・道路が狭い ・歩道が狭い ・道路がでこぼこ ・坂道と段差が多い	・街灯を増やしてほしい ・道路の整備 ・道路の拡張 ・車が来たら危ないので道を広くする ・自転車が2台すれ違えるよう道幅を広げてほしい

交通手段	
垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまちに」近づけるか
・バスの運行数が少ない ・電車の本数が少ない	・バスの本数を増やす ・電車等の交通機関を増やしてほしい ・10分に1本は欲しい

【グループB】

PR		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・多くの人がまた来たいと思える町 ・誰でも気軽に足を運べる町 ・高齢者が住みやすい町 ・垂井町は大垣市と近いので、そこを利用しホテルなど宿泊施設を作ると良い ・大勢の人でにぎわう町 ・段差のない、少ない道と建物 ・人がたくさん集まりそうな所に郷土資料館を作る	・歴史マニアがたくさん来ると活気づく ・町のにぎわい ・駅のにぎわい ・垂井町のPR手段 ・垂井駅に売店や店を作る ・みんなが知っている名物 ・ゆるキャラを使う ・地元の子供達などに協力してもらう ・垂井町民だけではなく多くの人々が来たいと思えるイベント ・不要な建物を撤去して新しい建物を作る ・その町にしかない昔の風景を利用して旅館を作る	・合戦があった所を前面に押し出す ・服、靴などのセール ・民宿などから始め、そこからどんどんホテルなど大型宿泊施設を作っていくほしい ・売店の他にも駅内に本屋など作ったらにぎわうのでは ・垂井の歴史にちなんで名物などを作れば、みんなもわかりやすい ・周辺の学校に呼びかけ、垂井町の良い所をアンケートする ・駅にイベント等のポスターを貼る

環境		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・ゴミが落ちていない町、ゴミのないきれいな町 ・自然が豊かできれいな町	・高校生だけでなく、小中学生も参加してもらう	・参加した学生にはクーポンのようなものを配る ・道路だけではなく、川も清掃する

地域	
住みたいまち	垂井町に足りないところ
・犯罪のない安心安全な町 ・祭りなどで盛りあがることのできる町 ・何に対しても諦めず入れる ・地区にとらわれず、町として色々な人が協力できる町 ・いつでもあいさつが当たり前に見える姿	・積極的に色々な人がいつも協力できる ・すれ違ったらお互いにあいさつができるようにする ・祭りなど盛りあがる場があるのに、参加する人が少ないので盛りあがっていない ・何かをつくる時、途中で諦めずにしてほしい

娯楽・ショッピング・ゲームセンター		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・ゲームセンターや遊び場を増やす ・駅の近くに大型ショッピングセンターがある ・大型ショッピングモールを作してほしい ・駅周辺には「トミダヤ」やケーキ屋などがあるのでそのお店も十分に使っていく	・ゲームセンターや宝島がない ・ゲームセンターが少ない ・21号付近にしか店が広がっていない、その付近にしか人が集まらない ・「昔ながら」を前面に出してほしい ・電車をおりてすぐ行ける ・娯楽関係を増やす	・駅の近くにコンビニを増やしてほしい ・テーマパークを作してほしい ・ヨシツヤの跡地などにゲームセンター等を作る ・街並みをいかした店や告知を多くする

交通手段		
●道路		
住みたいまち	垂井町足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・事故が少ない町 ・カーブミラーや信号を増やす ・でこぼこを直すなど、道路をきれいにして安全な交通の町 ・交通手段が便利な町 ・高齢者が歩きやすい道 ・坂がゆるい道	・ミラーがあってもほとんどが見えていない為、見ない ・道幅が狭かったり、でこぼこがあるところが極端・夜間の対向車線の車のハイライトが見えにくい ・曲がり角から出てくる車が危ない	・歩道が狭い、広げてほしい ・街灯をもっと増やしてほしい ・対向車線を走っている車や人が近づいてきたら、ライトを切り替える ・ちゃんと確認するよう周知したり看板をたてたりする ・見える位置にたててほしい
●バス・電車		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
・バスをもっと上手く利用できるように、運行時間や本数を多くする ・コミュニティーバスなども取り入れる	・バスの通りが少ない ・通学バス（朝だけでも）がない ・誰でも気軽に使えない交通機関は不便 ・バス停を増やす ・30分に1本バスが来るようにするといいい ・電車の本数を多くする ・交通機関を便利にする	・一時間に最低2、3本欲しい ・シャトルバス ・バス停・駅の周辺にコンビニやお店をつくる ・電車の本数をもっと増やす ・バスの本数を増やす

【実施風景】



一般住民ワークショップにおける主要意見

実施概要

日時：平成 29 年 1 月 21 日（土）

場所：文化会館 小ホール

（次第）

- 1 あいさつ・説明
- 2 垂井町の現状や課題を考える
- 3 垂井町の魅力的な地域資源を洗い出す
- 4 全体発表

【主要意見】

現状の課題として、大きく分けて 4 つの指摘がありました。

一つ目は、人口減少、少子化、高齢化等の問題です。単なる減少だけではなく、それに係る子育て支援の整備やひとり暮らし高齢者の支援が必要とされています。

二つ目は、空き家対策の検討です。若者世代の流出等により空き家が増加しています。空き家の管理、更には人を呼び込むためのまちづくりが必要とされています。

三つ目は、交通手段の問題です。公共交通に不便を感じている人が多く見受けられ、改善を求める要望があがっています。

四つ目は防犯対策です。夜道が暗い、街灯が少ない等の意見があがりました。

魅力的な地域資源の洗い出しとしては、祭りや行事の維持、町にある数々の歴史的文化財等伝統文化、ホテルが生息できる環境や里山など、それぞれ伝統が引き継がれ、自然も残っているため、それらを活かした観光 P R をしてはどうかという要望が見受けられました。

【意見概要】

【グループA】

現状の問題・課題			
少子化	地域活動	行動力	産物
・スポーツ少年団員が少ない ・子供の数が少ない ・子供の数が地域によりかたよっている ・出産時にはお祝い金など手厚い保護をする ・少子化対策が明確化されていないように思える ・若者の地域離れ(人口減少)	・ボランティア参加者が少ない ・子供見守りボランティアが少ない ・近所との交流減少 ・地域間や各種団体のつながりに分断化の傾向が表れている ・ゴミのポイ捨て ・公民館やまちづくりセンターの利用法(若い人が集まらない)	・企業誘致を積極的かつスピード感をもってやること ・観光資源を積極的に活用する(ポスターだけでなく、専任呼びこみ隊を作る)	・駅まわりの観光スポットがない ・観光スポットが知られていない ・土産物売り場がない(南宮大社周辺等) ・隣の関ヶ原ともっとタイアップして活性化する
家	土地	木	町バス
・空き家増 ・空き家対策で居住人口を増やす ・独居 ・家を建てる場所がない	・使い道のない土地 ・道路の狭さ ・夜道が暗い(町はずれ)	・樹木の管理(道路・公園など) ・間伐材利用	・町バスの利用 ・駅までの公共交通がもっと良くなったらしいな

魅力的な地域資源			
南宮山	垂井体験	祭り・伝統	立地の良さ活用
・南宮大社 ・南宮山ハイキングコース	・グルマン ・農業体験 ・古民家暮らし	・伝統をしっかりと引き継いでいっている（岩手だとしのぶえ） ・祭りの（伝統芸能）発信	・交通の便（ＪＲ、国道） ・ＪＲ垂井駅ビルの建設 ・複合ビル等（住居、サービス業 発展） ・インターが近い ・他県の往来 ・公園など子供が遊べる場所
自治会活動	観光客の呼びこみ		意識
・自治会の総会などへの参加が多い ・高齢者が元気で自治会活動をしている ・見守りパトロール	・相川の景観（桜並木・鯉のぼり） ・伝統まつり（垂井まつり、表佐たいこ） ・相川鯉のぼり ・高い建物が少ないから景色が良い		・どうにかしたい、してほしいという意識は皆さんある

【グループB】

現状の課題			
交通	空き家	高齢者	子ども
・ 町内の交通の便 ・ 公共交通機関	・ 人口減少に伴う空き家の活用（リフォーム等） ・ 空き家が多くなっている（身内は遠くに居住している） ・ 魅力ある町づくり（シャッター面）	・ 独居対策を地区内、町内でしてほしい ・ 安心して年を重ねられる町づくり ・ 保険証（１人１枚）	・ 保育園までが遠い ・ 小学校での行事の際、駐車場が少ない ・ 小・中学生の学校英語教育 ・ 中学校までの給食費の無料化（人口を増やす） ・ 子供の通学路に危険な所もある
町づくり		お金	現庁舎活用
・ 退職された方を町づくりに参加してもらう ・ 地区によって公共施設の充実に差がある（公園・図書館等）		・ 何か行動するのにお金が必要になる（現状は金がないからできない） ・ ふるさと納税の活用（お金を集める）	・ 現庁舎の活用方法は？ ・ 役所移転に伴う活用（観光物店舗にしたら）
要望			
・ 五次総の評価を公表してほしい ・ 各地区毎にといわれ、オール垂井という意識が低い ・ フォローアップ計画について観光案内所訪問者数、公園緑地の満足度目標値を決めたい ・ 評価委員会のスケジュール 平成 28 年 11 月 30 日の委員会 平成 29 年 3 月下旬には国へ評価シートを提出 事後評価シートを 1 年間公表する フォローアップ結果の公表 平成 29 年 6 月下旬			

魅力的な地域・資源(住民が楽しいと思えるまちづくり)		
祭り	みどころ	観光
・表佐のたいこのアピール (ポスターだけでなく、いつも展示したら) ・駅に垂井の紹介(祭り等)の大きな看板を立てたらどうか ・垂井ピア祭り、各地区の祭り ・お祭りを他地域に広げる ・松阪おどりの復活 ・中山道まつりのフォロー 商工会や垂井町ひきやま祭り まちづくり協議会・地区連合自治会の協力	・相川の鯉のぼり 350匹 ・相川桜周辺(食事、coffeeがあれば良い)自然環境が大変良い ・南宮大社とその周辺(ハイキング・サイクリング・歴史表示) ・大滝と養老の滝とのタイアップ ・トイレがあるとOK!	・観光大使をつくる(知名度UP) ・中学生、高校生の観光ガイドボランティア ・菩提山城の看板の設置(大きいものを) ・歴史資料の活用(各地区町道に個人及び地区の名前をつける) ・道路に街道名をつけよう

【グループC】

現状の課題		
福祉	子育て支援	他地区との交流
・認知症の方で困っています（75歳の方）お嫁さんに自分の持ち物を全部隠したと言って家の鍵を全部かけて家に入れなくなった ・高齢者福祉については関係する機関の間での連携が不十分である	・郡の陸上記録会（全員参加のもの）が無くなるなど、行事が減ってしまった。 ・学校と地域との交流（土曜授業）はあるがなかなか話がととのわない。連絡・連携が取りにくい。 ・道路の整備（子供達のための通学用歩道） ・「子育て支援」と言うが、子供を連れて行ける身近な公園が少ない ・高校生や大学生になると垂井では遊ばない。地域とも関わることがない	・地域のふれあい（お年寄り、子供） ・他地区との交流が少ない ・7地区の特色のみが表れていて町全体としての一体感が不足している
街中がさみしい	関係機関への連携	PR不足
・大きなスーパーが出来た為か町がさみしくなった様に思います ・空き家が増えている	・JRと関連したバス運行 ・第5次総合計画により発足した「まちづくり協議会」が十分に機能していない	・垂井はロケーションがいいところがたくさんあるのに、アピールができていないように感じる ・相川堤防からの伊吹山

魅力的な地域資源		
歴史	祭り	自然
・歴史 竹中半兵衛 ・南宮神社の高山さんのハイキングの件 ・親谷古墳をはじめとする古墳群（歴史、文化財） ・宮代藤村の文化財 ・美濃国府跡地（歴史、文化財）	・表佐太鼓踊り ・南宮神社のみこし ・大石 花火	・ホタルの里、モリアオガエルの里（自然環境） ・歩く 菩提山 ・表佐ハリヨの池のホタル ・湯つぼのきれいな水 ・不破の大滝（自然・環境） ・明神湖からの濃尾平野の眺め
人	人口増加	その他
・表佐の子ども教室 ・各地区にまちづくり協議会があること	・人口増加対策 住民 ・人口減少に町内の地区別にかたまりがある	・相川河川敷の整備 ・朝倉運動場の活用

【グループD】

現状の問題・課題			
人口問題	環境関係	山林の整備	空き家対策
・労働力の不足・企業の進出があまりない ・町中央の過疎化、高齢化 ・人口の減少、自治会差が出る ・人口問題に対する意識（少子高齢化） ・人口に対して地域の役が多い	・環境に対する考え方がない？（環境教育の充実） ・不法投棄 ・エコドーム、クリーンセンター ・農作物への獣害（アライグマ、ハクビシン、ヌートリア） ・相川、どろ川等町の河川	・子供の木育 ・農業林業体験（場所はある） ・山林の廃墟 ・山林の整備（観光も考えたい） ・山林に遊びと仕事のスペースをつくる	・空地や空き家の有効利用 ・空き家の増加 対策の遅れ ・空き家対策 すぐれそう
防犯・防災	子どもの遊び場	交通手段	その他
・公道（町・県・国）の整備（道路状況の整備） ・災害対策 相川の竹やぶが堤防まで広がっている ・避難所の不足 ・街灯が少なくなった ・新しくできる道路に街灯がない ・子供の安全（駅までの通学）	・共働き世代の子供のフォロー（定時まで働ける） ・子供の遊び場の減少（禁止が増えてい）山州池 ・子供達が安心して遊べる場所 ・各地区避難所及び子供の遊び場になるような集会所の整備	・駅までの足（高校生・通勤） ・高齢者の交通手段（買い物・病院） ・高齢者（90歳以上）のサポート（外で見かけない方が増えている）	・人の流れ ①住民 ②労働者 ③観光者 ・町全体の閉塞感 ・庁舎の移転に合わせた計画 ・行政サポート情報の周知不足・まち協の連携がとれていない ・趣味や教養を高める場を増やす

魅力的な地域資源	
観光	名所・文化
・垂井町の知名度が低い ・観光に来られた方の買い物、食事の場 ・観光客の受け入れ（トイレ・食事・案内） ・観光の場所等あるが、生かされていない ・特産品を生み出す ・観光資源の見直し ・映画等のロケ地へのPR（神社、山、相川など） ・地域ごとの祭りを垂井の祭りとしてPRする ・林道、池田、明神線（自転車）	・東海自然歩道（ハイキング） ・一里塚 ・半兵衛の里 ・国府の里 府中地区内にある ・南宮大社等の神社・仏閣 ・神社・寺の連携 ・宿泊施設の誘致 ・連理のサカキ（県天然記念物） ・不破の滝 道路が悪い（整備） ・滝の整備 道 P 宿泊 ・大石花火 ・伊吹神楽 ・細雪 ホタル狩り等もっと外へPRする ・竹中氏 城跡（景色） やぐら門 ・道の駅など特産品の販売ができる場所 大人数の食事の場所 ・栗原おどり

【グループE】

現状の問題・課題			
●子育て支援			
子育てしたいけど	働きたいけど	地域で遊べない	
・子供が三人いてもあまり支援がない ・学校の先生の子供に対する指導の方法	・働く場所、会社が少ない ・産業の優位がない	・神社、寺の敷地はあるが、公園が少ない ・公園（遊具施設）が少ない ・使えない遊具がある ・外で子供が遊ばない ・河川敷の東地区側の遊び場	
●防犯・防災			
道路が暗くて狭い	防犯	防災	
・道路の舗装（町道外） ・道路が狭い ・街灯がないから夜が危ない ・夜の明るさ、暗い ・夜道が暗い ・夜、照明のない所があるので危険	・防犯対策 （家の周りの小物が無くなる、農作物の被害）	・避難場所まで遠い ・防災の制度の継続性が薄い	
●その他			
独居老人	空き家問題	PRが弱い	交通手段
・1人暮らしのお年寄りの家が多くなった ・独居老人、空き家が増加している ・独居老人の見守り	・地域の若い世帯が少ない ・空き家が多くなった ・空き家の管理 ・住居に偏重がある（まばらに家が建ち、バランスが悪い）	・垂井に観光に来ても宿泊するところがない ・関ヶ原と比較して知名度が低い ・町としての特異性に乏しい ・伝統芸能（太鼓）の後継者不足	・町内のバスがあるが、利用者が少ない、ムダ ・夜、駅からの足に困る（タクシーがない、少ない）

魅力的な地域資源		
歴史・文化	グルメ	子育て
・ 竹中半兵衛公（軍師） ・ 南宮大社 ・ 菩提山 ・ 大滝に滝がある ・ 平塚為広 ・ 観光資源（干句の里 など） ・ 国府跡がある ・ 太鼓踊り ・ 九十九坊 ・ 垂井町内によさこいチームが3チームあり、イベントなどでも盛り上げている ・ こいのぼり ・ 河川敷の整備	・ グルマン（パン屋） ・ お店が増えてグルマンが人気 ・ つちや（和菓子）	・ 垂井ピアセンター〈場所〉 ・ 見守りパトロール隊〈人〉

【グループF】

現状の問題・課題			
町政	少子高齢化	産業（商業・観光）	防災・防犯
・役場との意思疎通 ・垂井町の方針が明確に伝わってこない ・税金の使い道 ・町職員に覇気がない ・ふるさと納税への対応が貧困 ・町民に改革意識が薄い	・高齢化 ・少子化 ・若い人が垂井町から出て行く ・子供を増やす施策がお題目だけ（真剣味がない） ・子供達と地域の方達のふれあい	・商店街の発展 ・高齢者が地元で買い物をする場所がない ・宿泊施設がない ・農業従事者が高齢者ばかり ・農業は米作（稲作）中心 野菜作りを進める指導がない ・工場誘致を行っているが、今更製造業でもないのでは ・敷地も狭い ・林業は壊滅状況なのに補助金が多い	・防災意識の低さ ・災害時の対応（垂井町全体） ・夜間のパトロール
町民の心	町の中心	まち協	交通
・ボランティア精神の薄さ ・歴史的価値のある物の大切さの心	・町の中心地がないと思う ・垂井町のまとまりが低下、不明（？）	・まちづくり協議会はその目的をはたしているのか ・公民館をなくすことは理解しがたい	・公共交通の不便 ・道路の整備（特に通学路など） ・障害者の方への配慮（垂井駅）

魅力的な地域資源	
歴史・名所	土地・自然
・竹中半兵衛関連の史跡等 ・外に誇れる歴史財産がある ・垂井の祭り（山車、たいこ） ・垂井の曳山 ・表佐太鼓 ・谷崎潤一郎の「細雪」の舞台（表佐） ・南宮大社 ・曳山 ・美濃国府 ・南宮山 ・相川のこいのぼり（観光客の思い出的なもの）	・朝倉温泉を使って（商品化） ・朝倉公園グラウンド（スポーツ活性） ・多くの工場（製造業の出荷路） ・青年つどい協の冬のイルミネーション ・車で旅行等便利なところ（東西南北どこへ行くにも） ・ＪＲ東海道、国道２１号が両方そろっている ・垂井の地理的な二面性 濃尾平野の北西の場、京都の外（京都文化の外） ・里山になりえる自然 ・岩手川のホタル ・相川を町の中心にする

【グループG】

現状の問題・課題		
食	自然	人口
・飲食店が少ない ・町内のお店の減少	・自然とふれあうことが少なくなった ・特に子供たちの体力、仲間意識が弱い	・子供の遊び場の確保 ・若者の流出防止
交通		生活
・高齢者への交通手段が悪い 巡回バスルートのかえ・方法が足の確保につながらない ・道路の、車道と歩道の分離帯の横があまりにもひどい（ゴミ、草、など） ・交通機関が少ない ・除雪が不十分 ・養老一垂井線の改修 ・垂井町の幹線道路で片側二車線の道路が無い ・国道 21 号線の四車線化の実施 人・物流にも重要 ・国道 21 号の拡大 ・道路の補修具合が他市町村より遅れている		・人口、世帯の減少 地域差が拡大している ・高齢者の増加 高齢者の地域活動へのボランティア活動が少ない ・コミュニケーションの希薄化 連帯意識が薄く、個人主体の行動がみられる ・空き家が増え続けている ・若者の流出による高齢世帯、一人家庭世帯の増加 ・放射線災害の対策計画はどうなっているのか ・夜が暗い ・公園が少ない ・体育館の管理が悪い ・夜道の明かり 安全
保険・医療		役所
・ドックの多面化（医療費がかさむ） ・全般のゴミに対する減少を考える 現状を町民全員に伝え、いかにゴミの減少を図るのか考える ・高齢者の保健施設の拡充 ・高齢者に対する対応 医療費、介護等に対する 町役場考え方（将来）		・町職員の能力が不足している（たらいまわしなど） ・町職員の働き具合が見えない（町民へのおしつけが多い） ・第 4 次、第 5 次総合計画の達成度の公表はどうなっているのか。 ・役場の駐車場が狭い ・ボランティアに頼るのが多すぎる

魅力的な地域資源		
伝統	観光	自然
・中山道宿場町 小林宅 長浜屋 ・東西への交通要所である ・歴史文化がすぐれている 国府、他すぐれたものを生かす 伝統芸能も多い ・垂井祭 垂井の曳山 ・垂井出身の偉人の生かせる町 ・伝統芸能の継承 ・地域運動会、文化祭がある	・道の駅の計画（特産物のPR） ・養老の滝と関ヶ原の中間に位置する ・ホテル・旅館を増やし垂井町の名物 観光客を増やす ・養老のスマートインターへのアクセスが良い（今は未だ） ・観光マップ作りを行う ・他の市町村から見た場合、垂井町は色々なサービスが遅れている。 ・観光は大垣、関ヶ原とタイアップして全国に発信してほしい。	・相川流域の整備（下流部の堤防部分の整備） ・山（里山）に近い ・自然豊かである 健康の為に散策道等を生かせればすぐれた地域になる ・人口の割にスーパーが多い（車なら大垣市、養老町もすぐ） ・静か ・岩手川 ホテル ・自然動物 ・相川の桜
人口		その他
・子供たちがすれていない ・地元好き ・高齢者が元気		・マラソンコースの拡充（参加者の全国的募集） ・カルガリーからの研修生の受け入れ

【実施風景】

